

鳥羽市予算決算常任委員会会議録

第 3 日 目

平成 2 9 年 9 月 2 2 日

○出席委員

委員長	戸上健	副委員長	木下順一
委員	奥村敦	委員	片岡直博
委員	河村孝	委員	山本哲也
委員	井村行夫	委員	中世古泉
委員	坂倉広子	委員	世古安秀
委員	尾崎幹	委員	坂倉紀男
議長	浜口一利		

○欠席委員

委員 橋本真一郎

○出席説明者

歳出

農林水産業費（第5款）

観光商工費（第6款）

土木費（第7款）

消防費（第8款）

教育費（第9款）

災害復旧費（第10款）

- ・立花副市長 ・小竹教育長
- ・清水観光課長、高浪補佐、中村係長
- ・南川建設課長、中山副参事、片岡補佐、吉川室長、中村補佐、奥野係長、高見係長、鳥羽副室長、中西主査、河村主査
- ・世古教委総務課長、寺本補佐、勢力係長、岩本学校教育課長、吉川補佐、榎生涯学習課長、上村補佐、中村係長、村田係長、中村係長、豊田主査、杉田係長
- ・益田消防長、前田消防次長、鳥谷尾消防署長、勢力消防総務室長、谷口予防室長、濱口消防総務室長補佐

○職務のために出席した事務局職員

次長
兼庶務係長 上村純
兼議事係長

(午前 9時00分 開議)

○戸上 健委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまから予算決算常任委員会を再開します。

それでは、第6款観光商工費のうち1項観光費について説明を求めます。

観光課長。

○清水観光課長 おはようございます。

ただいまから観光課のほうのご説明をさせていただきますが、本日は、副市長、そして私、清水と高浪補佐、中村係長、この4人でご説明させていただきますので、どうぞよろしく申し上げます。

座って失礼します。

観光課の観光費をご説明する前に、総務費の中での観光課所管分についてご説明をさせていただきます。

決算に関する説明書は59ページ、60ページ、成果説明書は214ページになります。

款2総務費、項1総務管理費、目5財産管理費の備考欄3、基金積立金で、観光振興基金1億2,263万3,000円を積み立てさせていただきました。前年度と比較いたしますと316万3,000円の増でございます。なお、決算成果説明書のほうの214ページなんですけど、その28年度積立金の額と決算に関する説明書の額が違ってございますが、決算成果説明書のほうには利息が入ってございませんので、来年度はこの決算成果説明書に利息分も含めた形で整理させていただきたいと思っておりますので、ご了承願います。

次に、決算に関する説明書は61、62ページをお願いします。

款2総務費、項1総務管理費、目6企画費の備考欄3、友好都市提携事業のうち、観光課としましては成果説明書の214ページのとおり13万6,000円支出しております。飯島町のいいちゃん産業まつり、美濃市の産業祭、三田市のさんだ農業まつりに農水商工課さんと連携して参加し、本市の物産、そしてPRを行ってまいりました。

次に、決算に関する説明書は73ページ、74ページをお願いします。

款2総務費、項1総務管理費、目14地域振興費の備考欄の4、集落支援員事業の報償費で、観光資源として234万6,000円を支出しております。この事業は、成果説明書の215ページのとおり、総務省の集落支援員制度を活用しまして、鳥羽市伝統文化継承ということを目的にしまして、集落支援員を2名委嘱しました。地域住民や市と協力をしながら、地域に点在する観光資源等の写真や資料の収集及び目録づくりを行ってデータとして保存をしております。そして、昨年度にデータ保存及び整理した資源・画像数は6,820点で、この観光資源等のデータを本年度構築する予定でございますデジタルアーカイブ専用サイトで一般公開し、地域の魅力発信へと、そして観光客の誘客等に結びつけていきたいと考えております。

次に、観光費についてご説明させていただきます。

決算に関する説明書の169ページ、170ページを、そして決算成果説明書は215ページからになります。

款6観光商工費、項1観光費、目1観光総務費についてご説明させていただきます。

観光総務費では8,393万8,000円を支出しております。備考欄の1、観光給与等管理費をごらんいた

だきたいんですが、6,616万7,000円を支出しております。ここの支出につきましては、観光課職員及びコンベンション派遣職員2名の合計9名分と嘱託職員1名の給与が主な内容ですけれども、特に新規といたしましては、公用車2台分の車検を受けまして、その車検代として17万1,000円を支出しております。また、補償、補填及び賠償金において98万2,000円を支出しております。これは、昨年夏に安楽島海水浴場におきまして飛び込み台の手すり部分が破損したため、海水浴客の男性の足にけがを負わせてしまったことから、その事故による賠償金98万2,000円をお支払いしたものでございます。

次に、備考欄2、観光基本計画管理事業につきましては1,130万4,000円を支出しております。決算成果説明書は216ページになります。

ここでは、委託料で二つの新たな事業を実施いたしました。

一つ目が、委託料のところで観光経済波及効果調査業務で403万9,000円を支出しております。この業務は、観光産業が鳥羽市の経済に与える影響を把握するため、市として初めて実施した事業でございます。平成27年中に鳥羽市を訪れた観光客の消費行動及び消費額、市内事業者における域内調達率の現状について調査分析を行いました。調査分析の結果、鳥羽市では観光客が消費する商品の製造、原材料の生産力が低いなどから、観光消費による経済波及効果が小さいという結果になりました。また、観光消費による経済波及効果を高めるための方向として、観光入り込み客数の増加、そして観光客1人当たりの観光消費額をふやすため、例えば水産物等のブランド化や高付加価値化、潜在的な市内労働力の発掘と観光産業とのマッチング等による雇用対策などへ取り組んでいく必要があります。

次に、二つ目の事業がアクションプログラム推進業務で、600万円を支出しております。この業務は、平成28年度から始まった前期アクションプログラムの3年後のあるべき姿を見据え、市民等の委員とアドバイザーとの意見を交えながら三つの会議を開催しております。その会議は、前期アクションプログラム管理会議、鳥羽うみ文化ネットワーク会議、芸術を活かした観光振興策会議の会議であります。そして、この管理会議のほうでは、今後のアクションプログラムの各種事業への評価の仕方の決定を、そして鳥羽うみ文化会議ではパンフの制作、ファミトリップなどを行うことを決定、そして芸術のほうの会議では、既存の芸術に関する取り組みについて情報サイトの構築やカレンダーの作成をすることに決定いたしました。これらの会議の決定を受けまして、本年度事業として現在取り組んでいるところでございます。

なお、観光総務費の不用額でございますが、346万6,000円でございます。この主な要因につきましては、先ほどご説明いたしました観光経済波及効果調査業務の入札結果に基づく差金でございます。

備考欄3のコンベンション誘致事業については、大きな変更はございません。

目2観光振興費についてご説明申し上げます。

観光振興費につきましては、2億222万5,000円を支出しております。備考欄の1、観光振興事業につきましては1億2,131万2,000円を支出しております。

172ページをお開き願います。

備考欄の上から5行目の委託料の観光案内所運営業務で1,126万円を支出しております。決算成果説明書は220ページになります。

鳥羽市観光案内業務では、近鉄鳥羽駅構内の鳥羽市観光案内所に外国語堪能な職員1名を補充し、近年増加

傾向にある外国人観光客への対応を強化いたしました。また、ここの備考欄1の観光振興事業では、会費等負担金や補助金事業が多いところですが、特に大きな動きといたしまして、昨年度は会費等負担金の伊勢志摩国立公園指定70周年記念事業で200万円を支出しております。決算成果説明書は223ページになります。

昨年11月に伊勢志摩国立公園指定70周年を迎えたことから、公園内のほかの市町と連携し、伊勢志摩国立公園指定70周年記念式典と、そして全国エコツーリズム大会in伊勢志摩を開催するなど、幅広く国立公園のPRを行うことができました。

また、補助金欄の鳥羽みなとまつり大会では1,100万円を支出しております。伊勢志摩サミット開催記念と伊勢志摩国立公園70周年記念、そして鳥羽一郎さんのデビュー35周年という節目の年でありましたことから、鳥羽一郎さんのふるさとコンサートの開催など、例年よりも補助金を増額し、この記念の年を市民等とともに祝いしました。

続きまして、備考欄の2、観光施設維持管理事業につきましてご説明いたします。

観光施設維持管理事業として1,245万3,000円を支出しております。前年度と比較いたしまして1,385万3,000円の減でございます。

174ページをお開き願います。決算成果説明書は226ページになります。

ここの事業は、公衆トイレや鳥羽展望台、近畿自然歩道、海水浴場の維持管理費等を支出しておりますけれども、平成27年度、工事請負費で、ここに計上してございませんが、佐田浜東公園の足湯設置工事1,225万7,000円と箱田山園地駐車場区画整理工事で167万5,000円を支出しております。前年度はこの工事請負費が皆減となっておりますのが減の主な要因でございます。

次に、備考欄3の観光基本計画推進事業につきましてご説明させていただきます。

観光基本計画推進事業として6,846万円を支出しております。ここでは、委託料の中で新たな事業に実施したことについてご説明させていただきます。

航空機内CM放映・空港情報発信事業で734万4,000円を支出しております。決算成果説明書は229ページになります。

海女、真珠に焦点を当てた鳥羽市の観光プロモーション動画をANA国内線・国際線機内で放映、これはやっておりますが、ANAの店舗で配布される紙袋、今、前のほうに置かせていただきましたが、この紙袋に海女と真珠を施しまして、全国の35の空港にある69のANAの店舗で配布し、広告展開を行うことで、鳥羽のPRと誘客に努めております。ANAでこういった紙袋を展開してありましたところ、沖縄県の職員さんの目に届きまして、沖縄県もやりたいということでANAのほうに連絡があったというようなことをお聞きしております。

次に、「海女のまち・鳥羽」海外プレスツアー事業としまして300万円を支出しております。決算成果説明書は230ページになります。

本事業は、地方創生加速化交付金を活用いたしました。伊勢志摩サミット鳥羽おもてなし会議実行委員会と観光協会と連携しまして、海女のまち・鳥羽の魅力を国内外に向けて発信しました。伊勢志摩サミット開催を契機として、日本一海女の多いまち・鳥羽の魅力を海外に発信し、外国人観光客の誘致促進を目的としまして、12の国と地域から20名の海外メディアを招聘した歓迎晩さん会及び海女文化をめぐるツアーを実施しまし

た。歓迎晩さん会では、観光事業者、漁業者、農業者、料理人、おかみさん、行政等が一体となって取り組み、海女のとった魚介類等を使った懐石料理による晩さんのほか、オープンキッチンでの鳥羽の料理人による調理デモンストレーション、現役海女による海女文化の紹介等を行いました。また、晩さん会翌日からは、海女文化をめぐる2泊3日のツアーとして、ミキモト真珠島、海の博物館、海女小屋でのランチ、海女漁の見学、石神さん参拝、市水産研究所の海藻レクチャー、答志町市場競り見学、ブルーフィールドでの朝食等、海女文化を体感できる充実した内容のツアーといたしました。参加した海外メディアの方々からは、料理人による繊細な盛りつけ、調理方法、おかみさんのきめ細やかな配慮、全体のプログラミング等に対して、すばらしいホスピタリティーであるという感想が出され、高く評価されました。

次に、海女のまち・鳥羽の魅力発信事業で700万円を支出しております。この事業におきましても、地方創生加速化交付金を活用しております。海女のまち・鳥羽の魅力と鳥羽での暮らしに焦点を当てた情報発信による国内外からの交流人口の増加、移住・定住人口の増加を目的に、ホームページ「海女のまち鳥羽」の紹介や鳥羽に住む108名のインタビュー、そして鳥羽に移り住み鳥羽で活躍する4人の方々に焦点を当てた動画を制作・公開し、ウェブニュースや新聞記事などで34媒体に掲載をされました。

次に、ストーリーある歴史観光構築事業では300万円の支出をしております。決算成果説明書は236ページになります。

鳥羽商工会議所に事業を委託し、鳥羽商工会議所が事務局を務めるリノベーション委員会が主体となって、鳥羽市の歴史文化、特に鳥羽城主九鬼嘉隆を生かし、中心市街地の周遊促進に努めました。鳥羽水族館やミキモト真珠島がある海側に流れている観光客動線を市街地へと周遊させることで、当該地域の観光に文化的深遠性を持たせ、かつ周辺施設の活性化を目的として実施しました。

九鬼水軍楽市・嘉隆公スタンプラリーでは、市内外から出店者を募り、城下町の楽市楽座をイメージした九鬼水軍楽市を実施し、飲食店や雑貨店などさまざまな種類の出店があったほか、水軍鍋のふるまいを行うなど、おもてなしにも重点を置いた周遊型のイベントとなり、大いににぎわいました。そして、中心市街地の隅々まで足を運んでもらうことがこのことでできたほか、中心市街地への移住及び店舗開業を促進するための空き家・空き店舗ツアーとか、九鬼嘉隆の歴史をめぐるツアーもあわせて実施をしております。合計来場者数は3日間で1万4,000人でした。

次に、工事請負費の観光・防災Wi-Fiステーション整備工事で639万3,000円を支出しております。決算成果説明書は、ちょっと前に戻っていただきたいんですが、228ページです。

鳥羽市を訪れる国内旅行者及び訪日外国人等の観光客が必要な観光関連情報の収集・旅行体験等をスムーズに受発信できる体制づくりや観光客・住民が災害発生時に災害関連情報の収集・情報伝達の手段とするため、無料でインターネットに接続することが可能な屋外向けの無線LANアクセス環境の整備を市として初めて総務省の補助金を活用し鳥羽マリンターミナル、佐田浜東公園、鳥羽マリンパーク、城山公園、鳥羽駅の5カ所に整備いたしました。

次に、補助金であります。帰宅困難者対策事業で3万円の支出でございます。この事業につきましては、災害時における帰宅困難者に対する支援に関する協定を締結いただいた観光事業者等が帰宅困難者受け入れ環境整備に要する経費の一部を補助するものでありますが、私どものPR不足もあり、1件のみの補助となったた

め、さらなる呼びかけをしていきたいと考えております。

次に、175ページをお開き願います。

漁業と観光の連携促進協議会事業で350万円を支出しております。この事業は、地域創生加速化交付金を活用しております。決算成果説明書は235ページになります。

本年度は、地産地消推進費について、地元産の水産物を地元で消費し、あわせて消費者の満足度向上を図るため、宿の朝食に焦点を当て、鳥羽ならではの魅力づけをする朝食プロジェクトを推進。地元漁師さんからおいしいと評判でありながら、その価値が発信されていないサワラのブランド化について取り組みを行いました。

朝食プロジェクトでは、宿における魅力ある朝食と魚介の価値向上を目的としまして、離島の宿泊事業者において共通のルール、そして食材の提供方法を検討し、離島ならではの食材や伝統的な食べ方ということで、食べ終わった煮魚に熱いお茶をかけて食べる医者ごろし等を提供する宿泊プランの造成を行いました。

そして、サワラのブランド化事業では、サワラの価値を高めるため、検討会の開催及び市場視察でのサワラ漁師との意見交換、サワラの生態調査等を実施しました。今後はブランディング戦略の確立によりましてブランド化を目指していきたいと考えています。また、サワラの価値やおいしさを知っていただくために、答志の漁師さんがサワラを釣る様子やそのこだわり、そして料理人によるサワラの料理等を動画にしまして、観光情報サイトやYouTube、鳥羽マリナーミナルで映像発信しております。

そして、観光振興費の不用額の主なものについてご説明させていただきます。170ページに、すみませんが、お戻り願います。

一番下の段の下の報償費157万1,000円の不用額がございます。このことにつきましては、漁業と観光の連携事業の中で地産地消の推進に当たってアドバイザーをお願いしておりましたのですが、そのアドバイザーの先生が病気になりまして、お引き受けいただけなくなったことから、そのことが主な要因でございます。

次に、172ページをお願いいたします。

委託料の144万6,000円の不用額でございますが、鳥羽駅の観光案内所に昨年度から外国語堪能な職員を採用するという事で予算化しておりましたが、募集をしましてから面接・採用するまでにかなり時間がかかったため、その委託料の92万8,000円が不用となりました。また、インバウンドの対策事業として商工会議所に委託をしておりますけれども、昨年、当初から雇用しておりました専任職員が退職したため、新たな職員を雇用するまでの期間の人件費、そして事業費分の51万5,000円が不用となったことが主な要因でございます。また、工事費の273万7,000円の不用額につきましては、観光・防災Wi-Fiステーション整備工事の入札結果に基づく差金によるものであります。負担金補助及び交付金の395万8,000円の不用額につきましては、入湯税の入り増額で左右されます鉾泉源保護管理整備で182万4,000円、佐田浜駐車場観光対策支援事業で86万9,000円、バリアフリー改修工事補助等で97万円、このことが不用額の主な要因でございます。

そして、決算成果説明書の総括のところの213ページをお願いしたいんですが、ここで新たに実施した事業につきましては、ほとんど今まで私がお説明させていただきましたけれども、一つご説明していないのが、213ページの下から15行目に書いてございます低カロリーで低塩分の食事を提供しテレビ等で話題となっている東京丸の内のタニタ食堂におきまして、日本の祝い魚の一つである鳥羽産天然鯛を1日70食限定で

6日間、鳥羽産の天然鯛の野菜あんかけ定食としてメニューに追加して、鳥羽産の魚食拡大に努めたということと、ANAさんのファーストクラスのところで3月と5月に答志島の黒ノリもそこで提供をさせていただきました。

以上が観光課の決算でございます。よろしくお願いたします。

○戸上 健委員長 説明は終わりました。

ご質疑はございませんか。

奥村委員。

○奥村 敦委員 成果説明書228のWi-Fiステーションの事業の件でございますが、余り私は個人的に周知がされていないように思うんですけども、どのような周知の方法をされているか、お伺いしたいんですが。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 開通したときに開通式等を真珠島でやったのと、あと、5カ所整備したんですが、各5カ所のところに「TOBA FREE Wi-Fi」のこの大きな看板を設置して、よくWi-Fiをご存じの方は、このマークはこれの大きさになるんですけども、見れば、ここはWi-Fiが整備されているんだということがわかります。国が、総務省の補助いただいたんですが、総務省のからのこのことは必ずしなさいというようなことでさせていただきました。

○戸上 健委員長 奥村委員。

○奥村 敦委員 わかりました。

あと、この5カ所の中で、城山公園が防災のWi-Fiになっているんですけども、一応認証がメール認証になっていると思います。防災のときに、その認証行為をなくすというようなシステム的に考えられているかどうか。防災のときに一々メール認証できないので、観光客の方とか。万が一、防災が起こったときに、認証行為を外すという形をとらないといけないと思うんですけども。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 ちょっとそのことを忘れかけてしまったんですが、フェイスブックとかに入会されておる方は、そのまますなりといくということになっているんですけども、メール認証につきましては、総務省の補助の中での規定があって、なりすましというのがあって、そういうものでしっかりしたセキュリティーをしなさいというのがあったかと思いますが、ちょっとその辺については確認させていただきます。

○戸上 健委員長 奥村委員。

○奥村 敦委員 メール認証がどうのこうのじゃなくて、一応、基本的にメール認証もありながら、SNS認証とか、総務省のほうでは4点ばかり挙げていると思うんですけども、それはそれで結構でございます。

あと、ステップアッププログラム2020に基づきということで総括のところに書かれていますので、その中で外国版の表示ということが全てに対して載っておりますので、それを実行される際にWi-Fiの部分も多言語の表記をされるわけですね、このプログラムの中で。そのときにあわせて、僕はその中に主要部分だけそれを載らせていただくということが一番いいのかなと思っていますので、またご検討いただくようお願いしたいと思います。

以上でございます。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 成果説明でいきたいと思います。

215、観光給与等の管理費、嘱託職員1人をふやして、ユーチューブもしくはSNSを用いた情報発信を行ってきたと。これのアクセス数は出ていますか。閲覧というんですか。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 今、観光情報サイトのアクセス数は、約20万件アクセス数がございますけれども、ホームページにはそのアクセス件数の表示は出ていなかったかと思います。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 コンベンションの誘致のほうでは、ホームページのリニューアルの中にこれを入れたという考え方でいいの。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 コンベンションはコンベンションのものだけです。うちうちということになっています。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 数字は。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 鳥羽市につきましては、20万件でございます。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 20万件のアクセスに対して、コメントはどれぐらい出ているの。ユーチューブを見て「いいね！」じゃなしに、ここのこの部分がよかったとか、個人の意見。これがやっぱり一番大事なところやでさ。

○戸上 健委員長 高浪課長補佐。

○高浪課長補佐 先ほどの20万ビューというのは、ホームページのアクセス数でございまして、先ほど言われたユーチューブのアクセス数ではございませんので、訂正をさせていただきます。

ユーチューブに関しては、今ちょっと資料を持っておりませんので、どういうコメントがあるかというのは、ちょっと後で確認しないとわかりません。申しわけないです。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 ユーチューブはSNSも一緒ですよ。後で教えてほしいのは、それが一番大事なことであって、閲覧することによって、いい・悪いの、やっぱり個人旅行とかが多いわけですから、それを大事にして、その評価を出してくれる人は来ると思うんです。また、来た人がそれを出すとも思うもので、そこら辺は大事にさせていただかないと。やっていますよというんじゃなしに、やっぱり結果を知りたいというのが、本来、観光課の一番大事なことかなと思っていますので、そこら辺はしっかりやっていただければ。また後で教えてください。

コンベンションのほうの新しいホームページ、リニューアルしてフェイスブックも伸びておるわけですが、ホームページを新しくする中で鳥羽市の情報も新しくおるんですか。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 コンベンションのホームページの中の鳥羽市の情報は、このリニューアルのときに写真とかそ

ういったものを新たにしてございます。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 約3倍ぐらいになってきたわけですから、これはもうありがたい話で、ただ、フェイスブックの「いいね！」の伸びがちよっと少ないかなと。そこら辺は、やっぱりフェイスブックの中身の濃さが、後でも言おうと思っておるんやけれども、鳥羽でもいろんなイベントの中で鳥羽の魅力を発信しておるんですけども、その発信しておる中で、ビューポイントとかそんなんが鳥羽にはないんですよ。ここで写真を撮ってSNSに上げたらいいよとか、よそはあるもので、そこら辺もやっぱり、要するに対抗していくならば、一緒にやってもらえればいいかなと思っていますので。今後のことになると思います。よろしくお願ひしたいと思っています。

それじゃ、次にコンベンション誘致。宿泊先が鳥羽は34.4%になっています。そして、志摩が27.9、伊勢が27.7。これは前年度か過去の統計はとっていますか。わからんか、コンベンションなので。

○戸上 健委員長 高浪課長補佐。

○高浪課長補佐 毎年、コンベンションのほうで、こういった伊勢志摩広域でのアンケートはやっておるんですけども、今ちょっと資料は27年度以前のものを持っておりませんので、後ほどコンベンションのほうに確認をしてお知らせしたいと思います。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 やっぱりコンベンション誘致事業ですから、過去から見てもどうふえたかとか、その前のコンベンション事業でもホームページが新しくなって鳥羽の情報も新しくなると。本来やったら、閲覧ビューが3倍になっておるわけですから、鳥羽の魅力がここで上がっておれば、新しい情報発信は正しかったという見方ができるんやけれども、過去のものが見えへん限り、34.4%というのが、本当に誘致作業でお金をつけて、これが正しいかという評価までは僕らはできひんもんで、過去のをちょっと出してもらおうと今後の対策にもなるし、それが観光課の向上になると思いますので、過去をしっかりと見て、未来について、来年に活用できるようにしっかりと持っていってもらようようにお願ひしたいと思っています。

続きまして、観光振興推進事業、鳥羽ビジターセンター運営管理。28年度、これはサミットで減ったという話なのか、もともとビジターセンターの役割が薄くなってきておるのか、場所が悪いのか。そこら辺はどう考えていますか、これが下がっておるというのは。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 私もこの数字を見たとき、原因は何なんだろうと本当に思ったんですが、ただ、先ほど尾崎委員が言われたように、私も場所的にはちょっと悪いなと思っていますが、原因については、私もちょっと考えたんですけども、わからなかったのが本音でございます。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 やっぱり課長、28年度、これだけ結構、1割は減ってきておるわけですから、ここら辺でカレンダー「未来に残したい伊勢志摩の海岸線物語」というのを作成しておるのさ。これからも海女とともに鳥羽は走りますとか、やっぱりもうちょっと強いものに鳥羽は掲げやないかんの違うかなと。みんなが海女さんを推進してやり始めたときですから、どこの看板も「海女・文化」とか、何か伊勢志摩国立公園協会やもので、

全般を言うておるとは思うんやけれども、鳥羽の事務所に関しては鳥羽の魅力を発信してほしい。そこら辺は強く言うておいてください。

それで、続きまして観光振興の推進事業。誘致実績、伊勢志摩。これは、やっぱり28年度、サミットで、兵庫県なんかもほとんど全滅したわけですよ。それで21校の2,370と出ているんですけども、どうですか。前年度と比べたらかなり減ったと思うんです。これを今回誘致で行ってもうて、足を運んで今までにないような動きをしていただいておりますんやけれども、今後につながっていないというのが28年度の現状になっておるもので。これが29年度はちょっとふえたと聞いていますけれども、ここら辺はもうちょっとしっかりと魅力を発信して、本当にこれこそ小・中学校の修学旅行では海女体験と、大人、一般観光客の方々だけの対象じゃなしに、子供たちに地びき網を引っ張るとか、そんなんはやっておったと思うんですけども、もうちょっと深い、やっぱり魅力のあるものを提案せなどうかと思っています。これは、本当は県にクレームぐらい出していただければありがたいと思いますので、本当にサミットでいいのか悪いのかがわからんような状態になってしまったのは残念で、そやけど努力していただいております中で、もうちょっと努力が足りんのかなと。減がかなりありますので、よろしく。ここら辺はどうですか、今後の。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 実績数値を申し上げますと、26年度が13校、27年度が41校で、そして28年度が2分の1の21校になってしまったわけで、その29年の内訳が、新規で来ていただいたのが10校で、継続が11校ということで、本当に2分の1になってしまったということで、この伊勢志摩学生団体誘致委員会は伊勢市も南伊勢町、志摩市とか一緒になって取り組んでいるわけでございますけれども、その中で、毎年、関西圏、関東圏の学校訪問をいたしまして努力しておりますところなんですけれども、いつも行程表とかパンフレットを持っていくのは当たり前で、行程表もこんなプランがありますよというのはしておるんですけども、連携して力強くやっていくように努力していきたいなというふうに思います。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 本当に今、課長も結構動いてくれておったんですけども、やっぱり受け入れ態勢の中がちょっと変わるだけで、日にちが変わるだけでだめやと。1回だめになると、もう違う場所に移ってしまうと、修学旅行というのは、泊まった、それで帰っていく日にまた予約して帰っていくのが、全国どこの小・中学校でもあると聞いていますので、それができなかったというのは、やっぱり三重県さん、日本の国もサミットを誘致してくれるのはありがたいけれども、そこまでは考えてもらわないと、地域の活性化を下げってしまったというのは本当に問題ですので、それに対して課長らは一生懸命頑張ったんやけれども、結果が追いつかなかったというのは残念です。

それでは、続きまして観光振興のテレビ番組制作、これは地上放送9社、9局ですよ。これは全国放送はやっぱり少ないわけですよ。中部、関西、関東。

○戸上 健委員長 ページはわかりますか。

○尾崎 幹委員 222。この中に、やっぱりケーブルは別ですか。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 別でございます。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 ありがとうございます。

そしたら結構ね。そやけど、これの結果というのは全然出ていないと思いますので、出すのはええけれども、流す時間とか、いろいろ問題の中、ここで見ておる限りは月曜、月曜、月曜、月曜、月曜と。要望したいのは、金曜、土曜、金曜、土曜、日曜ぐらいは入ってほしいなと思っていますので、ここら辺も今後の協議の問題点やと思いますので、それをしっかりと把握していただいて次につなげるようお願いしたいと思います。

232ページ、観光魅力アップ事業。この事業の中で、先ほども言わせてもうたけれども、ビューポイントですよ。これは全部参加していただいておると。鳥羽に来ておると。鳥羽の方もおられると思いますけれども、鳥羽以外の方が鳥羽に来て、鳥羽のビューポイントはどこなんやと。この一番魅力は、僕やったら石神さんのマラソンなんです。そこで、本当に記録を出したい方と、自然を満喫して体験したいと。その中でも走りながらもここでビューポイントやというような場所を地元がやっぱり出して行って、それを走りながら撮った方がSNSなんかに入れていただいて、それに評価が出ると、これこそ次につながると思いますので、こういう作業も今後続けるならば入れていただくようお願いしておきます。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

木下副委員長。

○木下順一委員 成果説明書の236ページのインバウンド対策事業でちょっとお聞きしたいんですけど、ここに書いてある、鳥羽商工会議所内に専任の外国人職員を配置し、国内外へのセールス活動を行ったと。これは、どういうことを行ったのか、内容をちょっと教えていただきたいんですけども。

○戸上 健委員長 中村係長。

○中村係長 特に昨年度は伊勢志摩サミットの後ということもありましたので、関東圏での商談会ですとか、あとセールス活動としては、そういった商談会でセールスを行っていただいた活動もあるんですが、昨年度はやはりサミット後で、エージェントの方々が伊勢志摩を訪れるということで、ファミトリップの受け入れの要請が多くありましたので、その専任のスタッフの方を中心として受け入れを行いまして、より有効な情報発信をしていただくということで活動をしていただきました。

○戸上 健委員長 木下副委員長。

○木下順一委員 今言うていただいたエージェントファミトリップ、聞きなれへん言葉やけれども、ここへ17回の83人。受け入れたということは、これを日本語に訳すと視察旅行か下見旅行になるのかな。来ていただいて受け入れたということですよ。どのあたりのお国の方が来ていただいて、どういうことをやったのかというのを教えていただきたいと思います。

○戸上 健委員長 中村係長。

○中村係長 多くが内容といたしましては、やはり伊勢志摩、鳥羽ということで、海女を向こう側から要請があって、その海女をテーマにツアーを組んで回っていただきました。エージェントファミというの、旅行会社の関係の方ですとか、海外メディアの関係の方々ですね、情報発信等をたくさんしていただけるということで、そういった関係の方々を受け入れているというのが、このエージェントファミトリップの受け入れとなっております。

ります。

○戸上 健委員長 木下副委員長。

○木下順一委員 情報発信ということで、これは課長にちょっと30年度に向けてというようなことで言わせていただくと、私の友達にミャンマーとか中国へしょっちゅう行っておる人がおるんです。この議員さんの中にもしょっちゅう海外行っている友達なんかがあると思うんです。その方らのほうから言うていただくのは、観光の宣伝マンとかセールスにいつでも行くよ、名刺一枚つくってくれたらと。ただ、名刺だけは要るけれども、行った折に鳥羽の観光PRをいつでもしてくるよというようなことを言うてくれる方がみえるんですけれども、そういうのも利用していく価値があるんじゃないのかなと思うんですけれども、そのあたりはどうですやろう。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 そのことを私ども観光課内でも話したことはあるんです。人のネットワーク、人脈とか、そういうものは仕事をしていくのに大事だということで、そういうことをちょっと私どもも検討はさせていただきたいなというふうに思います。

○戸上 健委員長 木下副委員長。

○木下順一委員 ぜひよろしくをお願いします。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

山本委員。

○山本哲也委員 成果説明書のほうでいきますと216ページの観光基本計画管理事業。アンケートをやっているだけおるんですが、事業者アンケートの1,345の依頼に対しての2割の269というところなんですが、この辺がもうちょっと上がらへんだんかなというところはどうですか。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 確かに1,345の中の2割というのは、実際に何でも総合計画をつくったりでもしますけれども、2割というのは少ないなという感じはしました。それで、その請負の委託業者に話をしましたら、2割もうたらずごいすということ、いいほうだということ、私もびっくりしたんですけれども、そういうことです。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 都心部の2万人の中の2割とかというてくると、まあ、そうなのかなと思うんですけれども、鳥羽の1,345ですか。まあ、いうたら知らんところばかりじゃないですよ。知っておるところも多いかと思しますので、1,345ということは、市内、業種にかかわらず、ほぼほぼ満遍なく行ったということなんでしょうか。どういう業者が対象になるんでしょう。

○戸上 健委員長 高浪課長補佐。

○高浪課長補佐 1,345に関しては、経済センサスで拾ってきた事業所数ですので、ほぼ全部ということになります。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 であるのであれば、やっぱり業者に委託でということなのかもしれないんですけれども、声が

けとかもしていただいたら、もうちょっと数も伸びて、より内容のしっかりしたものになったのかなというのがあるので、次回とか、こういったアンケートをとる際には、その辺もひとつ心がけていただきたいのと、その下の事業所ヒアリング。これも市内5事業所、もうちょっとあってもよかったのかなというところもありますので、そこもあわせて、委託で丸投げでやってきた数字に対してというのではなく、やっぱりその辺は気にかけていただきたいところかなというふうに思いますので、次以降こういったアンケート調査をされる際は、ひとつ心にとめておいてほしいなと思います。

続けてよろしいでしょうか。

○戸上 健委員長 山本委員、どうぞ。

(「関連」の声あり)

○戸上 健委員長 山本委員、ちょっと待って。

世古委員。

○世古安秀委員 先ほどの関連で、この観光経済波及効果調査の結果が、鳥羽市では観光客が消費する商品の製造や原材料の生産力が低いという理由から、観光消費による経済波及効果が小さいという結果になりましたというふうなことで、私も、議員もそうですけれども、非常に観光客がどれぐらい経済に効果が波及しているのかというのは注目して見ていたんですけども、ちょっと意外な結果が出てきたというふうに思うんです。この辺の分析はどういうふうにされましたか。

○戸上 健委員長 高浪課長補佐。

○高浪課長補佐 観光地でございますので、観光産業が与える経済波及効果は高いほうがもちろんよいとは思いますが、観光地なだけに、ほかの産業が少ないということで、観光でお金を落とした方がもちろんたくさんいらっしゃるんですが、そこは大きいとは思いますが、例えば、お土産をつくる業者さんであるとか、ホテルで使うもの、例えばクリーニングでもそうなんですが、リネンですね、そういった会社が鳥羽市には少ないということが原因だと考えられます。あとは、やはり鳥羽で働く方、観光業で働く方が、市外からかなり来ていらっしゃるということもあると思います。

そういったことも経済波及効果の算出には出てきますので、ここにも書きましたけれども、なかなか二次産業などを鳥羽に誘致するのは難しいかと思しますので、それ以外の方策で経済波及効果を上げていくのがいいんじゃないかということで最終的には分析をしました。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 確かに、おっしゃるように雇う人もなかなか市内からの人は少なく、よそから、伊勢とか志摩とかから来ているとか、市内にさまざまな観光関係の業者があるわけなんですけれども、なかなか鳥羽市にはそういう業者も少ないというふうなことがあるかもわかりませんが、この結果というのは、何かデータというか、そういうまとめをされましたか、きちんと書類か何かで。

○戸上 健委員長 高浪課長補佐。

○高浪課長補佐 報告書としていただきまして、さらに、それをわかりやすいように概要版はつくってございます。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 その概要版、報告書は、一応議会のほう、この場には提出はできますか。

○戸上 健委員長 高浪課長補佐。

○高浪課長補佐 提出はできます。

あと、8月でしたか、職員向けに経済波及効果調査の勉強会とといいますか、いろんな課でそれを活用して事業をやっていたかという事で説明会を開催しましたので、もし説明会が必要であれば、開催ができますので、言っていただければと思います。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 データで事務局に送っていただいて、議員のほうへ出してもらうということで、ぜひお願いしたいと思いますが、委員長。

○戸上 健委員長 わかりました。

高浪課長補佐、さっき勉強会を開くことはできるということでしたけれども、それは、この調査会社の調査員といいますか、それと観光課の職員がチューターになって、もし議会で開くとすれば、我々議会に対して講演するという事なんでしょうか。

○高浪課長補佐 調査会社の方を呼ぶかどうかは確認をしてみますが、前回、職員向けの説明会では、観光課の職員が説明をさせていただきました。

○戸上 健委員長 わかりました。

委員から要望がありましたので、既にペーパーになっていますわね。あれを各委員に配ってもらうか、決算委員会でも委員間討論やりますけれども、そこでもし、この委員会としてあなた方を講師に招いてもう一遍勉強しようじゃないかということになれば、その際、また持ってきてください。

世古委員、それでよろしいでしょうか。

○世古安秀委員 データで、まずはいただければと思います。

○戸上 健委員長 まずデータでね。まず、あのペーパーを議員に配ってください。お願いします。

山本委員。

○山本哲也委員 成果説明書220ページの観光案内所の運営業務でございます。数字を見ていると、利用者が減る中、外国人の対応件数が24年と比べると倍以上ということで、外国人の利用というのがすごくふえてきているんやなというのが、これを見てもよくわかるところでございます。

一つお聞きしたいのは、この利用者の、例えばですけれども、年齢層とかというところまでは多分されていないと思うんですけども、私が想像するに余り若い年齢層の方は使っていないのじゃないかなというような、僕はイメージを持っていますので、そこに置くパンフレットの内容であるとか、そういったものの工夫とかというの、その辺がわかってくればできたりするのかなというのがありますし、外国人がこれだけ来ていただいているというのがわかるので、漏れなくこの外国人の方は、この駅を経て町なかに出られるということなので、やっぱり町なかの受け入れ態勢とかというの、もっと整備していかないかのかなというのが、この辺の数字からもしっかりわかるのかなと思いますので、その辺の対応のほうも引き続きしっかりしていただきたいというふうに意見させていただきまして、ここは課長、どうですか。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 実際には、本当に外国人観光客がふえてきたということが、もう去年の段階で察しましたもので、それで案内所に外国語堪能な職員を受け入れている。そして、先ほどご説明しました屋外向け無料WiFiも整備したということで、インバウンドにつきましても、本当に今後、絶対上がってきますので、それに向けて努力はしていきたいというふうに思っております。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 ぜひお願いしたいなというふうに思います。どちらかというとう遠慮しがちであったりとか、うちはまだいいよとかというような声も、よく外に出ると聞くとところもあるんで、実際こういう数字を提示してあげると、やっぱり必要なんやなというのもよくわかるのかなと思いますので、ぜひ取り組みを進めていただきたいなというふうに思います。

224ページのこれも佐田浜駐車場の観光対策支援事業のところでございます。

離島宿泊者分の車が約1割弱。ここずっとそれぐらいのペースで落ちてきているというところがあるんですけども、離島全体、離島としての宿泊者数自体もこれに比例して下がっておるものなんでしょうか。ちょっとすみません、観光統計を見ていませんでしたもので、その辺の数字がわかれば。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 すみません、観光統計のほう、離島だけというのは……

○山本哲也委員 とっていないですよ。

○清水観光課長 はい、ごめんなさい、すみません。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 これを見ると、多分比例するんじゃないかなというようなことは思うんです。なので、この辺の原因とか、いろんなPRをしておる中、こうやって数字が1割ずつ減っていついってしまっておるというのは、ちょっと寂しいなというのもありますので、いろんな要因はあるかなとは思いますが、しっかり分析していただいて対応をとっていただけるといいのかなというふうに思います。

続けてよろしいでしょうか。

○戸上 健委員長 山本委員、どうぞ。

○山本哲也委員 すみません、そのすぐ下の海女文化を活かした魅力づくりなんですけれども、8月5日から8日まで学生による作品の制作展示をさせていただいておるんですけれども、すみません、これは僕、実はちょっと足をよう運んでおらなだったので、反応といいますか、どれぐらいの方が答志に渡っていただいたりとか、相違のほうに足を運んでいただいたかという数字とかって把握されていますでしょうか。

○戸上 健委員長 高浪課長補佐。

○高浪課長補佐 8月5日から8日まで、来場者50名ということで報告をいただいています。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 その50名は、ブルーフィールドのほうの数字でよろしいのでしょうか。相違のほうの数字ですか。

○戸上 健委員長 高浪課長補佐。

○高浪課長補佐 今の50名は、ブルーフィールドです。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 五左屋とか相差のほうは出ていない感じですか。

出ていないですか。いいです。

学生さんを使ってとかというところで、僕は結構好きな取り組みなんです。若い感性を鳥羽に持ってきて進めておる芸術も絡めた観光とかという部分で、すごく寄与することなのかなと思っていますので、もうちょっと来てもらうような工夫ですとか、何かもうちょっと制作物が、野外というのもあってなかなか期間を延ばしたりもできないのかもしれませんが、もうちょっと期間を設けてもらったりとか、見ていただく工夫というの必要なかなというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいなと思います。

続けてよろしいでしょうか。

○戸上 健委員長 山本委員、どうぞ。

○山本哲也委員 225ページにわたって、すぐ隣のページでございます。これのプログラムの商品化及びホームページやイベント等で周知ということで、プログラムはもう既に商品化されたということでよろしいのでしょうか。されたのであれば、その商品がどれぐらい出たのかというような数字は持っていますでしょうか。

○戸上 健委員長 高浪課長補佐。

○高浪課長補佐 地元ガイドによるまち歩きプログラムは商品化をされております。これを周知するのに、ホームページ、チラシ等を作成、ツーリズムEXPOなどでPRをしております。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 また実績とかもあれば、後で結構ですので、教えてください。

すみません、そのすぐ下でございます。これは楽市とあわせてやったところでの来館者数が出ておりますが、これはふだんから比べるとどれだけふえたとかという部分。これを見たら、僕の感覚的にはすごいよけ行っとうたんやなという感じなんですけれども。

○戸上 健委員長 中村係長。

○中村係長 例えば、江戸川乱歩館等では、大体週末の土曜平均で約10名程度のお客様がこのときであれば19名いらしていただきましたりですとか、あと伊良子清白邸でも週末約20名のお客様が45名ぐらい来ていただいておりますので、一定の効果はあったのではというふうに思います。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 ありがとうございます。

九鬼水軍楽市も、皆さん朝早くから出ていただいて、3回の合計で1万4,000。あのエリアでやってというところに僕はすごい価値があったのかなというふうに思ひまして、ついこの間もちよっといろんなところでヒアリングをさせていただいたところ、やっぱり売上げがあの日が上がったりですとか、町なかに人を呼び寄せる工夫というのがあれば、もっとあのエリアというのは人が歩いてくれるんやなというのがすごくわかった取り組みやなというふうに思ひますので、これまでの人の流れを変えるような、こういった取り組みがどんどんあれば、もっと中心市街地の中にも人が歩くのかなと思いますので、これからは僕としてはしっかりこの辺は続けていただきたいなというふうにお願ひして終わります。

以上でございます。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

世古委員。

○世古安秀委員 成果説明書の234ページの上のほうの鳥羽HOSUプロジェクト推進事業ですけれども、その真ん中のあたりに、学校給食における日本の祝い魚「鯛」の提供ということで、答志島産の天然真鯛を学校給食に2,200食分提供しましたけれども、子供たちのどういう反応があったかということは、教育委員会のほうからは報告を受けていますか。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 学校というよりも、このときに取材に行っていた、ここに書いてございますテレビ局とか新聞記事を読ませていただいて、こんなに鳥羽のお魚がおいしいやというような声が記事に書かれておりました。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 なかなかふだんは地元の魚を食べる機会というのはなくて、子供たちは本当に喜んでいただかと思えますけれども、今までずっと、HOSUプロジェクトということで日本の祝い魚でアワビとイセエビとそれからタイというようなことで、さまざまな取り組みをしてきましたけれども、今後、平成30年で終わることなんですか、この取り組みというのは。ちょっと書いてありましたもので。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 この事業を始めたのが、もう5年前ということで、その当時、100人の海女さんが六本木ヒルズでずっと行ったという、あのときに農水省に5カ年計画を出して、そして補助をいただきながら、現在、HOSUプロジェクト事業が来たわけなんです。そして、今年度がHOSUプロジェクト最終の年になりまして、今年度は要は日本の祝い魚をもっと全国に販売をしていくというような取り組みをやっていくという計画になっておりまして、今、ある築地の市場の経営者のほうから、都内の格式あるホテルの結婚披露宴の引き出物にしたいという話で、今現在それで取り組んでいるというところでございます、来年度は、このHOSUプロジェクトも漁業と観光の連携事業の中で取り組んでいきたいかなということで進めていきたいと考えています。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 鳥羽市の観光の重要な目玉というのは、やっぱり食であると思えますけれども、その食の大きなものとして、イセエビ、アワビ、タイというふうな、最近、答志産のサワラもいろいろと宣伝していこうということで出ておりますけれども、ポスターも三つつくって、非常にすばらしいポスターで、うちらもずっとまだ張っていますけれども、インパクトのあるようなものでしたので、あれは祝い魚ということですので、引き続き、ぜひこの三つのは全国に対しての宣伝をしてもらいたいというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 先ほどの世古委員の子供たちの反応の質問もあったんですけれども、課長から説明があったタニタの生の声みたいなものが、OLさんたちとか、そういう方々の声が届いていれば紹介してほしいんですけど

れども。

なければいいです。また後ほどどこかで資料がわかれば教えてください。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

坂倉広子委員。

○坂倉広子委員 成果説明書の231ページですけれども、食品・土産品戦略事業についてお伺いをいたします。

郵便局が実施する「ゆるキャラに応援年賀状を書こう」ということで、トーバ・トパティに420枚の応援年賀状が届きというところの事業内容、そして成果をお伺いしたいと思います。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 231ページの下ですね、これは郵便局さんの鳥羽郵便局さんが私どものトーバ・トパティに目をつけていただいて、要は、はがきを私どもに持ってきていただいて、そして、ちょっとすみません。

○戸上 健委員長 あけましておめでとうというやつと違うのか。

○坂倉広子委員 どういう事業なのかなと思って。また、それがどういうふうに反映されて観光に結びついてるんだというのをお聞きしたかったんです。すみません。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 委員長、すみません、書いておきながらご説明ようしなくてごめんなさい。

○戸上 健委員長 広子委員。

○坂倉広子委員 全国的な流れの中のゆるキャラですかね。

○戸上 健委員長 中村係長。

○中村係長 全国にゆるキャラがたくさん各自治体にいらっしゃいますけれども、トーバとトパティもそこに参加をしまして、全国のトーバとトパティのファンの皆さんから二人に年賀状をいただきましたので、市のほうで、せっかくファンの皆さんからいただいたお声に対して、お返事という形で、はがきを購入しましてお送りをしました。それが、また今後、トーバとトパティへの応援につながっていくものだと思っております。

○戸上 健委員長 坂倉広子委員。

○坂倉広子委員 ゆるキャラグランプリというのがありますけれども、またそういうものにもつないでいていただけるような観光PRというのか、そういうふうなものにしていただければいいなと思いますので、今度ともよろしく願いいたします。

以上です。

○戸上 健委員長 このトパティの年賀状は、観光課長、観光課でなくて子育て支援室に届いているのではないの。

(「あれはジュジュです」の声あり)

○戸上 健委員長 あれはジュジュか、また違うのか。ごめん、トパティは観光課か。そしたら観光課に届いているわけですね、420枚が。ああ、なるほど。

他にございませんか。

中世古委員。

○中世古 泉委員 先ほどから聞いている中で、観光魅力アップ事業ですか、成果説明書の232ページです。
この中で、説明の中でも、石神マラソンさんとかが結構いろいろと効果的な事業になっているかなと思うんですけども、今、来客数とかふえているというてちらっと聞くんですけども、どんな感じですか、石神さんについては。

○戸上 健委員長 感じというと。

○中世古 泉委員 どういうふうな流れになっているかな。宿泊効果とか、その他、後々の展開も聞きたいと思
いますけれども。

○戸上 健委員長 観光課長、課としての評価を教えてください。

○清水観光課長 ことしの2月でしたか、私もお邪魔しました。そのときに、前の市長が挨拶の中で、市がやら
なければいけないこのような大きな事業を長岡の地域の人がみんなでやってくれて本当にありがたいというこ
とを言ってみえました。本当にそれほどいい事業をやっていただいておりますし、長岡地域の方はすごいなという
のが私の本音でございます。

そういった中で、さっきも尾崎委員から何か景観のビューポイントの話もありましたが、ことしはパールロ
ードのほうにもルートを変えながらやっていきたいというようなことを町内会長さんが言ってみえましたもの
で、まただんだんこのマラソンはレベルアップしていくんじゃないかなというふうに思っております。

○戸上 健委員長 中世古委員。

○中世古 泉委員 私らも地元ですので参加させていただいたんですけども、結構、町内の事業としては、人
員やらその他トータルについて、すごく過大な、大き過ぎる事業かなと思いました。ただ、地域にはすごくい
い効果があったのかなというふうに思いましたもので、すみません、よかったので、来年もする予定になっ
ていますか。その辺はどうですか。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 そのような形で、今年度ですね、実施するという形の中で、この事業に申請をいただいでおり
ます。

○戸上 健委員長 中世古委員。

○中世古 泉委員 本当に私もまたあれば必ず参加させていただきたいと思しますので、また鳥羽地域のため
にも、鳥羽市内の観光関連の促進にも寄与するように頑張りたいと思しますので、またよろしくお願
いいたします。

以上です。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 関連ということやないんですけども、石神マラソンは、課長が言われたように長岡地区の地
域の全体で応援にも立ったり、国崎とかあちこちで応援にも立ったり、本当に地域の祭り、行事として、非常
に連帯感も増しましたし、大きなことだった。いい行事であったというふうに評価をしておりますので、また
ぜひ市のほうの支援も続けてやっていただきたいというふうに思います。

成果説明書の221ページの一番下に、三重の観光営業拠点240万円が出ておまして、その一番下のほう
に、楽天トラベル主導のもとで、鳥羽市では「海女×女子会」をテーマに体験プランと宿泊プランを造成

したという記述がありますけれども、これの実績というか、わかりましたらちょっと教えていただきたいなと思いますけれども。

○戸上 健委員長 中村係長。

○中村係長 鳥羽商工会議所さんに協力をいただきまして、鳥羽市と商工会議所でPRのほうをしておりましたが、こちらの販売件数なんですけれども、資料作成時には、問い合わせ等があったんですが、今のところまだゼロ件ということで、このプランについてはそういった販売実績になっております。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 残念ですね。せっかくこういう海女さんと話ができたり、女の方と話ができる、そういうプランをつくったんですけれども、楽天トラベルというふうなことで、そこから入らんことにはなかなか申し込めないというふうなこともあったんですけれども、こういうプランはつくってもらったと思うんですけれども、それを活用して、またいろいろ各旅館のほうとかホテルのほうとかへ何かできるような方法、また、せっかくつくったプランを活用できるようなことも考えていただきたいというふうに思います。それは要望です。

もう一つ、これは細かいことやないんですけれども、観光課の全体の予算も見てみますと、非常にたくさんの事業をやらせておりまして、委託事業というのがたくさん目につくわけです。商工会議所とか、観光協会とか、そしてそれぞれの業者に委託をしたというような傾向が非常に見受けられるんです。ということは、逆を返せば職員が足らんということで委託になってくるのかというふうなこともあるかと思うんですけれども、その辺は、課長、全体の中での事業の委託割合とか職員数のこととかはどう考えていますか。

○戸上 健委員長 観光課長。

○清水観光課長 職員数につきましては、みんな一生懸命その人数の中で取り組んでいるというのが本音でございまして、課の職員が多ければ多いほどいいにこしたことはございませんけれども、鳥羽市全体として考えたときに、私どもだけが職員をくださいということもできませんので、このような形で、やっぱり今の現状の職員の中でやっていくというふうに思っております。

自分で言うのもなんですけれども、うちの職員は本当に前向きな職員が多くて、私も助けられておるんですけれども、それでも委託をするという話なんです、これはやっぱり私ども職員がやるよりも協会さんにご支援いただいたほうが、皆さんと観光施設さんとの関係があったりとか、例えば商工会議所やったら商工会の関係があるとか、そういった関係で、やっぱり私どもが観光協会さん、商工会議所さんに助けてくださいというように思いで委託をしたりして、うまくこの事業が生きるようにという思いでお願いをしておるわけでございます。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 決して委託が悪いということではないですよ。それと、職員は本当に、課長が言われていたけれども、頑張ってますので、その辺は少ない人数で僕は頑張っていると思っております。さまざまな事業のチェックもまた大変だと思いますけれども、市の基幹産業である観光と漁業と連携の事業もありますけれども、そういう意味でもチェックということの成果もきちんとしていただきたいなというふうに思いますので、よろしく願います。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

副委員長、ごめん。

○木下順一副委員長 かわります。

(委員長交代)

○木下順一副委員長 委員長。

○戸上 健委員 簡単に2点だけお伺いします。

決算説明書170ページの最下段の報償費、ミス伊勢志摩トロフィー他1万9,900円についてお聞きします。

これは、当初予算のときに僕は言うたんやけれども、地方公共団体が、いわば美人コンテストやわな、そういうものに公費を支出することについて、いかがなものかと意見を出しました。これは、あなた方は支出してみても市民に、市民の税金です。こういうふうに出しましたと胸を張れる支出だったのかどうか。その点、感想で結構ですので、聞かせてください。

○木下順一副委員長 観光課長。

○清水観光課長 ミス伊勢志摩につきましては、受賞された方々が鳥羽・伊勢志摩を県内のあらゆるイベントにもご参加いただきながらPRしていただいておりますので、効果がどうかと言われるとちょっとあれなんですけれども、私どもは、PRとしてやっていたという事で、いいことだなというふうには思っております。

○木下順一副委員長 戸上委員長。

○戸上 健委員 鳥羽の観光魅力アップに観光課が懸命に努力しておるということは、僕も認めております。それと、地方公共団体が公費を支出すべき項目についてしっかり吟味するという点では、これは当たり前のことであって、美人コンテストを民間団体が主催して民間の権利でやるのは、僕は全くそれに目くじらを立てるつもりはさらさらありません。しかし、地方公共団体が地方自治法に基づいて仕事をしておるのに、女性の差別という意見も一部にあるわけです。そういうところに、さも協賛するかのようにはトロフィーを出し続けるということについては、いかがなものかと。それは、あなた方はもうちょっと、PRのためだというふうには大きくりにせずに、担当課として、こういう支出がどうなのかということについて吟味してもらいたいというふうに思います。これは苦言を呈しておきます。

それから、もう1点ですけれども、成果説明書の229ページに、Web PRのインターネットサイト「クレージー」にて、「伊勢志摩に行ってはいけない10の理由」、これをして効果があったと。サイト閲覧数6万7,000ページビューということになっております。これは職員の発案なんでしょうか。

○木下順一副委員長 観光課長。

○清水観光課長 これは、鳥羽市広告宣伝戦略委員会というのがございまして、市民と各種団体が一緒になっておるんですけれども、その委員会の中で出た意見でございます。

○木下順一副委員長 戸上委員長。

○戸上 健委員 職員の発案なら、僕は大きいこれは職員を褒めようと思ったんだけど、僕らでは到底考えられないような視点というか、アングルで、こういうものを出して、さっきホームページの全部のアクセスは

20万ということでしたので、これだけでも6万7,000、7万近いアクセスになったということで、非常に僕はこれは評価できるということでした。

以上で質疑を終わります。

(委員長交代)

○戸上 健委員長 ないようですので、説明員交代のため暫時休憩いたします。

あの時計で40分まで10分間休憩します。

(午前10時28分 休憩)

(午前10時38分 再開)

○戸上 健委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

第5款農林水産業費のうち国土調査費と第7款土木費、第10款災害復旧費のうち建設課所管分について、まとめて担当課長の説明を求めます。

建設課長。

○南川建設課長 建設課長の南川です。よろしくお願いをいたします。

委員長より第5款以降という話がありましたけれども、まず決算成果説明書の238ページ、239ページをお開きください。

そこに建設課の平成28年度の決算の総括、及び市民課の予算であります建設課が実施をしております2款総務費、項1総務管理費、目9交通安全対策費について、私のほうからまずご説明をさせていただきます。

まず、道路事業につきましては、建設課の道路パトロールを294回実施するとともに、町内会の緊急の要望に応えるため、直営での道路補修を192件、側溝の詰まりや草刈りなど183件を実施するとともに、各町内会等の関係の協議を行いながら道路補修等の工事を補正予算において事業費を増額しながら44件を実施しております。今後も市民の安全・安心につながる道路事業を展開していきたいと考えております。

また、社会資本整備総合計画に基づく国の交付金を活用しました事業につきましては、実施計画に沿って市道東中学校線の整備を進めてまいりました。橋りょうについては、橋梁長寿命化計画に基づき、長寿命化工事、橋りょう点検業務及び健全度評価調査業務を実施しております。

しかし、近年、社会資本総合整備事業費の社会資本整備総合交付金につきましては、市の要望に対する交付率が年々下がってきておまして、平成26年度は66.9%、平成27年度は41.5%、今回対象となる平成28年度は35.5%となっていて、国からの予算配分も厳しい状況となっております。

また、社会資本整備総合交付金事業を活用して、平成27年度に策定いたしました鳥羽市公園施設長寿命化計画に基づき、市民の憩いやレクリエーションの場として快適に利用していただくために、鳥羽中央公園野球場の改修及び高丘公園の遊具の改修などを実施いたしました。

みなとオアシス事業につきましては、中部みなとオアシス連絡協議会の会長市であったため、事務局の運営を行い、Sea級グルメ全国大会、各オアシスでのイベントに参加をしております。

市営住宅事業につきましては、47件の修繕工事を実施するとともに、年4回の空き家募集を行いました。また、交付金を活用しまして安楽島市営住宅電気幹線の改修工事を実施しております。

空き家活用促進事業につきましては、空き家の活用と移住促進を図ったところ、22件の利用がありました。28年度末において、平成27年9月に開設しました鳥羽市空き家バンク制度の登録数は25件となっております。

また、市内への移住促進を図るため、市営住宅の空き家の2戸改修し、一時的に入居していただけるように整備をするともに、鳥羽市での生活体験や就職活動の拠点としての体験住宅を民間の空き家を借りて整備いたしております。

地籍調査事業につきましては、相差11地区0.32平方キロメートルの一筆地調査と測量及び平成27年度に実施しました相差10地区0.27平方キロメートルの成果閲覧を土地所有者に行いました。平成28年度末の地籍調査の進捗率は32.5%となっております。

それと、建築物耐震化促進事業につきましては、国、県の補助金を活用しまして大規模建築物耐震改修工事を1件実施しまして、木造住宅耐震補強設計3件並びに補強工事3件について補助を行っております。

都市下水路管につきましては、鳥羽四丁目地区の浸水被害を防ぐため、鳥羽ポンプ場2号機のスクリュウの下部軸受けを取りかえる修繕工事を行いました。

災害復旧事業につきましては、平成27年9月7日から11日に影響を及ぼしました台風18号による豪雨により被災した道路、河川施設について復旧工事を実施しております。

また、各課からの工事関係の委託については、工事10件、業務委託5件の設計・監督業務を行っております。特に消防庁舎建設工事に伴う基本設計委託については、延べ30日、50人の建設課技術職員を参加させて、技術的なアドバイスをを行い業務の進捗を図っております。

下に、新たに実施した業務についてですけれども、伊勢二見鳥羽ラインの無料化前倒しに伴い、8カ年計画で三重県に協力金を支出します。

鳥羽河内ダム事業につきましては、事業の推進を行うため、三重県などの連絡調整会議を17回実施し、地元町内会及び地権者等の理解を得るため、岩倉町・河内町内会の説明会及び地権者との調印会等を26回実施しました。用地買収等につきましては、予定どおりの事業量を実施し、進捗に努めております。

予算執行を伴わない事業についてですが、市営住宅の募集については、移住定住促進の観点から、市内在勤・在住者に限られていた要件を緩和しまして、広く公募を行った結果、2名の方が入居をされております。

また、平成27年度から施行された空家等対策の推進に関する特別措置法に関して、管理不全の空き家等について7件の情報提供があり、平成25年度からの管理不全の空き家等は81件となり、うち平成28年度に解体された空き家は5件ありました。

以上が28年度の事業の総括であります。

次に、成果説明書の同じ239ページ、決算に関する説明書は65ページ、66ページをお開きください。

2款総務費、項1総務管理費、目9交通安全対策費でございます。

工事請負費については、支出済額は昨年度と比較しまして99万9,000円増の397万9,000円でございます。この主な要因は、年度途中で補正予算により増額をいただき、交通安全施設及び通学路整備工事を11件実施し、歩行者及び車両等の安全確保に努めたことによるものでございます。

私からは以上でございます。

○戸上 健委員長 中村課長補佐。

○中村課長補佐 課長補佐の中村でございます。よろしくお願いします。

第5款農林水産業費、項1農業費、目6国土調査費でございます。

決算に関する説明書は157ページ、158ページをお願いします。決算成果説明書は240ページをお願いいたします。

支出済額は、昨年度と比較しまして838万9,000円増の3,450万1,000円でございます。この要因は、人事異動による人件費が増加したことによるものでございます。

昭和62年度より鳥羽市全体面積107.9平方キロメートルを対象として国土調査法に基づき地籍調査事業を実施しています。平成28年度は相差10地区690筆において地籍簿及び地籍図案を作成し、D工程からH1工程までの工程検査を1月25日に受検いたしました。その後、地籍調査成果の閲覧を2月1日から20日までの20日間行いました。

また、第6次十箇年計画により計画区域を相差11地区636筆とし、土地所有者に9月7日に説明会を開催し、9月27日から10月18日まで現地にて立ち会いを求め一筆地調査を行い、その後、地籍調査測量業務委託を1,490万4,000円で発注し、地籍の明確化を図りました。

私からは以上です。

○戸上 健委員長 中山副参事。

○中山副参事 覚えていただいてありがとうございます。中山です。

建設係の関係について、私から説明をさせていただきます。よろしくお願いします。

決算に関する説明書の179ページから、決算成果説明書は241ページからをお願いいたします。

第7款土木費、項1土木管理費、目1土木総務費でございます。

支出済額は、昨年度と比較しまして1億2,695万3,000円増の1億7,587万6,000円でございます。この主な要因は、決算に関する説明書180ページの備考欄の負担金及び補助金にあります。先ほど課長からも説明のありました伊勢二見鳥羽ライン無料化負担金として2,000万円を支出しております。

次の182ページの備考欄2、建築物耐震化促進事業として1億2,490万2,000円を執行しております。この主なものは、大規模建築物耐震改修事業として1億1,939万3,000円を執行したものであります。詳細につきましては、決算成果説明書の241ページに詳しく掲載してございますので、ごらんおきください。

決算に関する説明書182ページの備考欄3、移住・定住促進事業として301万8,000円を執行しました。補助金として、空き家バンク活用促進事業、家財処分等についてですが、18万2,000円、空き家リノベーション支援事業に257万6,000円、負担金及び補助金として、空き家バンク活用促進奨励金に26万円を執行しております。

次に、項2道路橋りょう費、目1道路維持費でございます。

支出済額は、昨年度と比較しまして199万6,000円増の6,813万7,000円でございます。この主な要因は、人事異動による人件費の増加によるものであります。

決算に関する説明書の184ページをお願いします。

備考欄2の道路維持事業として4,209万9,000円を執行しております。工事請負費として、市道維持修繕工事の3,899万7,000円、原材料費81万7,000円を執行しています。決算成果説明書の243ページに詳細を掲載しておりますので、ごらんおきください。

決算に関する説明書183ページをお願いします。決算成果説明書は244ページでございます。

目2道路新設改良費でございます。支出済額は、昨年度と比較しまして5,406万3,000円増の1億8,884万5,000円でございます。この主な要因は、184ページの備考欄1の地方道路整備交付金事業として1億2,659万8,000円を執行しております。工事請負費として、市道東中学校線道路改築工事に9,104万4,000円、高丘1号橋外1橋長寿命化工事に332万4,000円、待葉橋長寿命化工事に283万1,000円を、それから工事等負担金として近鉄の中之郷第4号踏切道路改良工事として331万3,000円を執行しました。

186ページの備考欄をごらんください。

備考欄2、河内ダム関連道路整備事業として2,378万7,000円を執行しております。

備考欄3、道路新設改良事業として3,845万8,000円を執行しております。決算成果説明書の245ページにそれぞれ詳しく説明書きをしておりますので、ごらんおきください。

続いて、項3河川費、目1河川維持費でございます。

支出済額は、昨年度と比較しまして260万8,000円の増、946万3,000円でございます。この主な要因は、186ページの備考欄1の河川維持管理経費として946万3,000円を執行しております。年度途中に増額の補正により工事請負費の河川維持工事として692万7,000円を執行したことによる増加でございます。

次に、目2河川改良費でございます。支出済額は、昨年度より29万3,000円減の10万円となっております。この減額の主な要因は、補助金として河内ダム対策費を支出していたものが、事業の推進、進捗により補助金がなくなったことによるものでございます。

以上でございます。

○戸上 健委員長 吉川室長。

○吉川室長 まちづくり整備室の室長の吉川です。よろしくお願いいたします。

続きまして、決算に関する説明書187ページ、188ページ、決算成果説明書は247ページをお願いいたします。

項4港湾費、目1港湾管理費でございます。支出済額は、昨年度と比較しまして338万円減の1,977万9,000円でございます。この主な要因は、昨年度は、みなとオアシスとばF e s t a 2015と題しまして鳥羽市で開催したイベントに補助金として実行委員会のほうに300万円を支出しておりましたが、今年度はイベントがなかったということで、それによるものであります。

事業としましては、188ページの備考欄1、港湾管理経費としまして57万5,000円を執行しております。平成28年度は、中部みなとオアシス連絡協議会の会長市であったため、事務局の運営を行いながら中部みなとオアシス会議に参加いたしました。備考欄2、3の内容につきましては、前年度と変わっておりません。

続きまして、項5都市計画費、目1都市計画総務費でございます。

支出済額は、昨年度と比較しまして74万8,000円減の2,021万9,000円でございます。内容につきましては、昨年度とほとんど変更はございません。

続きまして、189ページをお願いいたします。決算成果説明書は249ページをお願いいたします。

目2都市下水路費でございます。支出済額は、昨年度と比較しまして2,493万9,000円増の2,721万6,000円でございます。この主な要因は、190ページの備考欄1、都市下水路管理経費のうち工事請負費として、鳥羽ポンプ場スクリーパーポンプ改修工事として2,484万円を執行したことによるものでございます。

続きまして、目3公園費でございます。決算成果説明書は249ページ、250ページをお願いいたします。

支出済額は、昨年度と比較しまして831万4,000円増の6,317万4,000円でございます。この主な要因としましては、192ページの備考欄3、都市公園整備交付金事業としまして2,732万1,000円を執行しておりますが、課長が総括のところでも説明いたしましたが、工事請負費として社会資本整備総合交付金事業を活用して平成27年度に策定しました鳥羽市公園施設長寿命化計画に基づいて、鳥羽中央公園野球場改修工事としまして1,738万6,000円、高丘公園遊具改修工事として261万3,000円を執行しております。

以上でございます。

○戸上 健委員長 片岡課長補佐。

○片岡課長補佐 総括課長補佐の片岡でございます。よろしくをお願いいたします。

続きまして、191ページをお願いいたします。

項6下水道費、目1特定環境保全公共下水道整備費でございます。

これにつきましては、特定環境保全公共下水道事業特別会計繰出金として8,459万1,000円を繰り出しております。詳細につきましては、後日開催される特別会計のところで担当の水道課からご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、項7住宅費、目1住宅管理費でございます。決算成果説明書は250ページ、251ページをお願いいたします。

251ページの住宅運営管理経費の市営住宅空き家募集状況の表中の数字に誤りがありましたので、正誤表を提出してありますので、差しかえをよろしくお願いいたします。申しわけありません。

支出済額は、昨年度と比較しまして1,421万5,000円増の7,520万円でございます。この主な要因としましては、194ページの備考欄3、移住・定住促進事業として1,499万3,000円を執行したことによるものであります。市内への移住促進を図るため、市営住宅の空き家を2戸活用して、移住希望者が住宅を確保するまでの間、一時的に入居できるように整備しました。また、鳥羽での生活体験や就職活動の拠点としての体験住宅を民間の空き家を借り上げて整備しました。詳細は、決算成果説明書の252ページに詳しく掲載しておりますので、ごらんおきください。

私からは以上でございます。

○戸上 健委員長 中山副参事。

○中山副参事 続きまして、災害復旧費について説明をさせていただきます。

決算に関する説明書は241ページ、242ページをお願いします。決算成果説明書は253ページでございます。

第10款災害復旧費、項2公共土木施設災害復旧費、目1道路橋りょう災害復旧費でございます。支出済額は、昨年度と比較しまして109万7,000円増の4,329万4,000円でございます。この主な要因は、242ページの備考欄1の道路橋りょう災害復旧事業として4,329万4,000円を執行しております。主なものは、工事請負費として災害応急復旧工事4,108万8,000円、土地建物購入費として災害復旧工事にかかわる土地代金211万円を執行したものでございます。工事の詳細内容につきましては、決算成果説明書253ページをご参照ください。

続きまして、目2河川災害復旧費でございます。支出済額は、昨年度と比較しまして3,701万1,000円減の564万5,000円でございます。平成27年9月に発生しました台風18号に伴う豪雨により、河川施設の被災箇所への復旧工事について繰り越し分を実施したことによるものであります。詳細につきましては、決算成果説明書の253ページをごらんおきください。

以上をもちまして、建設課の説明を終わらせていただきます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○戸上 健委員長 説明は終わりました。

先に第5款農林水産業費の国土調査費についてご質疑はありませんか。

世古委員。

○世古安秀委員 国土調査、28年度は相差地区をやっておられるということで、進捗率も32.5%ということで課長から冒頭に報告がありましたけれども、地籍調査をもっと加速できないのかということでございますけれども、だんだんと鳥羽市も高齢化が進んできて、土地の確認をするのに人がまだ生きて話が聞けるうちにやっておいたほうがいいんじゃないかと思うわけです。各市民のほうでも、早く来てくれないかなというようなことを思っている方もおるとお思いますので、その辺で、これは県からの補助も出ておりますし、あとは市の財政をどれだけ投入してやるかということにつながるとお思います。何せ時間もかかるわけなんですけれども、この先々、現在32%というところですけども、これが完了するのは、どれぐらいの年数か。ずっと前から50年かかる、50年かかるというふうに言われておったんですけども、どれぐらいこれは目標というか、考えているんですか。

○戸上 健委員長 中村課長補佐。

○中村課長補佐 前も言わせてもらいましたけれども、何年というのは到底はかり知れません。この前も50年以上と言わせてもらったんですが、30年たって大体この数字ですので、推測はつくかと思えます。

以上です。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 なかなか何年ということは言いにくいと思うんですけども、計画的にやっているのは確かなんです。もう少し加速ができないのかなというふう思うわけなんですけれども、課長、その辺はどうか。

○戸上 健委員長 建設課長。

○南川建設課長 世古委員の質疑ですけれども、3年ぐらい前に、こういう状況だということで担当課としていろいろ議論をしまして、当時の市長にも提言をしたことがあります。というのは、今、50年以上かかるというところを何とか進めたいということの中で、人員を増員して、今、1班体制でやっておる調査を2班体制にして、さらに世古委員が言われましたように予算もふやしながらやると、大体30年ぐらいでやれるというふうなシミュレーションをしまして、財政当局を入れながら協議をさせてもらったんですけれども、そのときも、人員のほうも総務課は行革の路線の中でそういう人をふやすのは難しいということ、財政的にもそれ以上のもは現状として難しいということで、そういう構想が至らなかったという経緯があります。

担当課としては、何とか進めたいという気持ちがありますけれども、そういう予算と人員の関係ということで今後もいろいろ協議しながらやっていきたいなと思います。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 地籍調査というのは、土地の所有者を明らかにするというのもあるんですけれども、さまざまな公共の工事とかをする場合にも、きちんとそういうことが必要になってくると思うんです。3年前に検討したけれども、なかなか財政的なことではななかったという課長の答弁でありましたけれども、これは副市長に初めて聞きますけれども、建設関係の畑をずっと歩いてきまして、地籍調査の必要性については十分理解していると思うんですけれども、この辺の促進ということに関して、どうですか、一言いただければ。

○戸上 健委員長 副市長。

○立花副市長 ご存じかどうかわかりませんが、私は実は県庁の地籍調査の担当の課長でしたもので、これを各市町の方々に。それで、三重県は全国的にもつけから2番目なんです。一番おくれておるところで、何とか取り組んでもらえないかということで、休止しているところとかいろんなところをやってくださいということで私は回ってきました。

何がネックになるかということ、やっぱり立ち会いがとか、そういうことで人がたくさん要るんです。そのところに定数が割けないということ、特に地籍調査につきましても、通常の用地買収なんかと同じで、今はもう世界測地座標でやらんといかんという厳格化さが求められるようになりましたもので、時間と人と、それとまた先ほども申されたように、なかなか境界の確定にだんだん高齢化してきてわからないとかいうので、余計手間がかかるというふうなことで、その辺のところを手当てしないとなかなか難しいということで、お金のほうはそんなに大きなお金にはなりませんので、市町の負担というのはあれなんですけれども、やっぱり人のところをどれだけ手当てができるかというふうなところが一番ネックになって。

ただ、鳥羽市、私はここへ来て、よかったなと思ったのは、担当のセクションがあるわけです。ほかの市町は、地籍調査の担当のセクションって置いていないところがほとんどで、今回、津市が2年ぐらい前ですか、市長が23号から海側のところは特に津波とかいろんなことの復興とか復旧に資するためにもやらんといかんということで、英断されまして、セクションを置かれて何人が配置されておるというふうなことで、要するにちょっと理解を上げていただいているというようなところなんですけれども、やっぱり人のかげんが一番問題になるかなというふうなところでございます。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 副市長は一番やっぱりようわかっておる。重要性もわかっていると思うので、県からも昨年度では半分近い1,600万円補助もいただいていますので、先ほども言いましたように高齢化もどんどん進んでいくと、進めようもなくなってくると、立ち会いもできなくなるというような状況に本当になってくるわけですから、それはぜひ加速をしていただきたいなと思います。

県の補助もあるということで、県とのパイプも強い副市長に努力いただいて、補助の金額もちょっとふやしてもらいますようお願いもしていただいて、ぜひ促進を図っていただきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 質問すると言われてはいますけれども、質問をちょっとしたいなど。

一番最初の総括の後の予算執行を伴わない事業の管理不全の空き家……

○戸上 健委員長 尾崎委員、ちょっと待って。今は国土調査費について。

他にございませんか。

片岡委員。

○片岡直博委員 成果報告書243ページ。

○戸上 健委員長 国土調査費についてのご質疑です。

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 次に、第7款土木費についてご質疑はありませんか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 まず、1点目、管理不全の問題なんです。これは27年に特別措置法で進むことになっておるんやけれども、25年から、うちはやっぱり放りっ放しというか、管理がされてへんのが81件という数字の中でも、28年度までに解体されたのが5件やと。これはもう個人の問題になってくると思うんですけども、これを速やかに進めることが安全・安心につながると。それでなくても、やっぱり地震という大きな災害のときに、管理がされてないということは二次災害にもつながる。

この5件という数字がやっぱり適正ではないと思うんです。もうちょっと強く地権者の方、管理しておる方に、前に進む方法というたらおかしいんですけども、今まではやっぱり管理不全の地権者の方のところには行っておるわけですか。

○戸上 健委員長 吉川室長。

○吉川室長 通報があった方、全部じゃないんですけども、一応、本当に隣の建物にかなりもう影響がある、危険やというところには、実際、話をしたりとか、通知を送って、何とかしてほしいというふうには言っております。

去年5件という数字なんですけれども、直接お会いしてお願いするわけなんですけれども、やはり向こうも300万円、400万円、500万円というようなかなりの金額をかけていただいた数字ですもので、なかなか皆さん、その借入れとか、銀行に相談したりとか、いろんな方法で、もう資金繰りがかなり厳しいという

のもありまして、それぐらいしかなかかなか進めないというような状況になっております。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 この問題は、僕が平成11年に議員させてもうときには、もうかなり問題になっていまして、それで具体的に国のほうも措置法ができて、私らも危惧せないかんところはかなり出てきたと、その中でも地域の町内会の役割がやっぱり重要になってきて、一つの例なんですけれども、もう潰れかかっておって誰のものかもわからんとか、地権者はわかかっておっても壊すお金がないというときに、町内会が前へ出て、そこでやっぱり家は古い、先ほど言われたように200万円、300万円かかるわけです。そのお金の確保ができひん、また壊せへんのやという現状が把握できて、それを壊して、そこでお金の生む方法を考えて壊した例が2件あるんです。それは、駐車場にするとか、それでその駐車場代金で返済していくという。やっぱり壊してくれと言うだけじゃなしに次につながるような提案ができたらええと思うんやけれども、先進事例とかはあると思うもので、もうちょっとスピードを上げて、やっぱりこういう実例があるというのを提案することによって、これは加速すると思いますので。何せ、もう管理していない、いつ潰れてもおかしくないという家がやっぱりあるわけです。その周りに住んでおる方は、また通学路が多いんですよ。そういう子供の安全・安心に関しても進めやないかんと思っていますので、いい実例があれば、それを地権者にしっかりと説明して、この数字をやっぱり半分ぐらいまでは早急に持っていってもらようようにお願いしておきたいと思います。

続きまして、253ページ、災害復旧。ここはまだですか。ほんなら、とりあえずそれだけで。

○戸上 健委員長 片岡委員。

○片岡直博委員 先ほどはすみません、フライングしまして。

243ページの道路維持業務の考え方についてちょっとお聞きいたします。

まず、この4,200万円という決算なんですけれども、当初予算は3,000万円、9月補正で町内会要望に因應するためという名目で増額された。町内会要望の積み残しの金額は、現在で、おおよそで結構ですので幾らぐらいか。おおよそどれぐらいの金額が残っているか、お聞きします。

○戸上 健委員長 建設課長。

○南川建設課長 片岡委員の質疑にお答えいたします。

これについては、昨年度の予算決算常任委員会で河村委員からも同様の質疑がありまして、そのときに私のほうから説明したのは、106件の2億8,300万円という回答をさせていただきました。それが今年度、28年度末で133件の2億8,000万円ということで、件数はさらにふえておるとのことと、要望の実施する金額については若干下がったという状況でございます。

○戸上 健委員長 片岡委員。

○片岡直博委員 ここにうたってもらっておるんですけれども、市内をパトロールして危険な箇所から緊急性の高いところ、あるいは町内会要望に因應ということなんですけれども、基本的に道路維持なんて補正でやるべき性格のものじゃなくて、道路管理者として道路の舗装なんかは、わだちになってきたり、ピンホールなんかができたり、経年化して老朽化してくわけですけれども、要望のほかにもどんどん道路の路面が要するに劣化してくる。

そういう背景の中で、市道で未舗装のところがあったり、事故でも起きたら道路管理者の責任を問われるよ

うなカーブとか、逆オーバーになったようなねじれたようなところもまだまだ施工されていない。そういう状況の中で、建設課長、申しわけないんですけども、財政課長のほうに当初予算としてどのように要求されていますか。

○戸上 健委員長 建設課長。

○南川建設課長 予算要求の話が出ましたけれども、決算ですので、少し飛んだ話ではないかと思うんですけども、少し説明をさせていただきますと、ことしの当初予算と補正予算、市長がかわってからの政策的な予算ということで上げております。そのときに議員のどなたからも質問がなかったので、説明はできなかったんですけども、実際は、この道路維持費につきましては経常経費で3,000万円というのを上げております。それが、経常経費というのは、いろんな人件費等も含めて上げている中で、市全体として前年度並みとかシーリングがかかったりとかするところです。

そこを上げにいかうとすると、当然、人件費等ほかの予算に食われてしまうということで、なかなか経常経費を上げられないということで、そしたらどうするかというと、先ほど片岡委員の質問にもありましたように、それらを含めて政策的な経費で上げなければならないということで、今年度、市長がかわりまして6月の補正の予算で、建設からのいろんなそういう町内会からの要望あるいは実際現地を見てやらなければならないところ等を加味しまして、全体的に政策的なところで道路新設改良費でということで1億2,622万7,000円という数字を上げました。

実際、昨年度の数字からすると8,137万7,000円増ということで上げさせてもらいました。これは、私も財政課の担当職員ともいろいろそういう事業の中身も詳しく協議しながらやっておるんですけども、なかなかむちゃな数字ということで、最終的には6月の補正で全体的な予算を見ながら落ちついたのが5,920万2,000円ということで、予算書を見ていただくと上がっていると思います。これでも昨年度と比べると1,435万2,000円増ということで、実際は今言った経常経費の3,000万円プラス1,435万2,000円ということは4,435万2,000円という数字で、財政と市長ともども理解をいただきながら増額の予算をいただいたということで、今後もそういった形で政策的にやらなければならないところも含めて、財政当局と粘り強く協議をしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○戸上 健委員長 片岡委員、28年度決算に質疑はとどめておいてください。さっきの課長の答弁は、29年度の6月補正ですもので、29年度の6月の予算決算常任委員会の審議にかかわってきますし、30年度予算編成の見解と所見ということになりますもので、28年度決算に関しての質疑にとどめていただくようお願いいたします。

はい、どうぞ。

○片岡直博委員 いや、ちょっとオーバーラインしておるとは思うんですよ。基本的にその決算に対して十分に対応できておるかということに視点をおきたかったものですから、今のような質問になったわけです。

○戸上 健委員長 わかりました。

○片岡直博委員 それじゃ、委員長、申しわけないです。決算に関する説明書の5ページ、入りのところをちょっとお願いします。

国のほうで地方譲与税というのがあるわけです。

○戸上 健委員長 片岡委員、ちょっと待ってください。歳入はもう終わっておるもので。

○片岡直博委員 いやいや、それはわかっておるんですけども、ここを触れないと、なぜかというところに到達しないんです。短くいきますので。

ここで国から5,700万円という譲与税の配当が来るわけですよ。少なくとも工事請負費を5,700万円、5,600万円というふうに予算を組んでもらえたらありがたいなということです。

以上です。終わります。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

河村委員。

○河村 孝委員 成果説明書の242ページ、空き家活用促進事業、これは当初の予算のときも言ったかもわからないんですけども、実際の例があったので、ちょっと紹介させてもらおうと、成約をした後、家主さんがごみをもう先に捨ててしまったと。いや、しまった、領収証ももらってないと。そういうシステムがあることすら知らなかったという例があったんです。

その告知の仕方なんですけれども、割かし、じゃ、今ホームページとチラシと、こういうシステムがあるよということを告知してもらっていると思うんですけども、ほかに何か私の知らないところでやってもらっている告知の仕方があれば教えてください。空き家バンク全体の告知の仕方をね。

○戸上 健委員長 吉川室長。

○吉川室長 それだけです。市のホームページとか広報とかそういったところです。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 市老連とミライトークでお話ししたときも、実際、チラシを配って案内させてもらったんです。そしたら、こういうことを全然知らなんだということで、年配の人はホームページをなかなか見にくるということもできないと。告知の仕方をもう少し一歩踏み出して、年配の方もこういうシステムがあるんやというよな、わかりやすくなるような告知の工夫をしていただくとありがたいなと思うので、その辺をよろしくお願いします。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 ないようですので、第10款災害復旧費のうち建設課所管分についてご質疑はありませんか。
尾崎委員。

○尾崎 幹委員 先ほど言うたように災害復旧事業で、桜ヶ丘4号線、これは本当に市道のほうはきれいになって、のり面に関しても市道の部分に関してはしっかりなっておるんですけども、その上に関する対応が、ここで安全を確保という言葉が出てくると、あの前の家の方々はまだ住めない状態が発生しておるわけです。ここまで踏み込んだ何か事業をやっぱり考えてもらわないと。中山さん、どうですか、何かありませんか。

○戸上 健委員長 中山副参事。

○中山副参事 桜ヶ丘4号線についてですが、以前からお話しさせていただいていますように、用地買収のできたところ、できないところというので、ちょっとのり面の保護ができているところ、できていないところがで

きてしまっております。それにつきましては、のり面から崩落する可能性のある土の量を下で受けるという形の工法で処理をさせていただいたということでございますので、ご理解をお願いしたいと思います。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 ただ、もう技術屋でよくわかっておるとは思いますけれども、市の土地に関しては本当にきれいにしてもうておるんやけれども、その上に亀裂がある山を持った方々のそこをどうにかもうちょっと強うやつてもらわないと、直してもらった前の方がまだ住めない状態がずっと続いております。これをどうにか市の力で、やっぱり地権者とお話ししてもうて、買うことも考えてやってもらわないと、都市計画税を払って固定資産税を払ってしておる中で、危険で住めないというのがあるわけですから、それをどうやって今後対応していくのか、それだけちょっと、中山さん、教えてください。

○戸上 健委員長 中山副参事。

○中山副参事 今後の課題にさせていただきたいなと思います。

その上の用地につきましては、実際に私は用地交渉にも行かせていただいたんですが、行政といたしましては、鑑定評価で出たお金で購入をお願いしたいということでの交渉しかできなかったという。その何十倍ものお金を出せば売っていただけたのかなというの、私も歯がゆいところが確かにございます。以前にも委員にも見せさせていただきましたように、ネットのほうで億単位の金額でヤフーのほうに載っております。今も載っているんじゃないかと思っておりますので、全てを億単位の金でなら売るといような話にどうしても行政のほうとしてはついていけないというところがございますので、またそれはそれで考えていきたいなと。

ただ、私どもとしましては、崩れてくる土の量をそこで一回とめると。以前の工法が余りにも貧弱な工法でフェンス等が立っておりましたので、その部分につきましては、災害復旧工事の中で強固なものにつくりかえたとは思っておりますので、以前よりは頑丈にはなっているというふうにご理解いただきたいと思います。

○戸上 健委員長 尾崎委員、それぐらいにとどめておいてください。

○尾崎 幹委員 確かに大雨が降ったり、この間の台風でも石がころころ大きいものは落ちていません。確かに小石はかなり水と一緒に流れていますので、それが拡大されたときに、もう一度同じ災害が起こるならば、やっぱり対策はもうちょっと強固なものにしていただきたいと要望しておきます。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 ないようですので、説明員交代のため休憩いたします。建設課はご苦労さまでした。

(午前11時33分 休憩)

(午前11時38分 再開)

○戸上 健委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

第8款消防費について、消防長の説明を求めます。

消防長。

○益田消防長 消防本部の益田でございます。よろしく願いいたします。

消防費について説明をさせていただきます。

歳入歳出決算に関する説明書は195ページから204ページでございます。決算成果説明書は254ページから264ページでございますので、よろしくお願いをいたします。

8款消防費の支出済額は4億8,160万円でございます。平成28年5月開催の伊勢志摩サミットに伴います消防特別警戒による経費や高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材の備品購入費、並びに消防庁舎建設工事費基本設計や消防庁舎造成工事に伴う設計業務等の委託料などが主なものとなっております。

消防費の不用額は1,221万8,000円でございます。主な要因は、消防施設費委託料で消防庁舎造成工事に係る設計業務の入札差金が生じたものでございます。これが主なものでございます。

詳細につきましては、消防次長から説明をいたしますので、よろしくお願いをいたします。

○戸上 健委員長 前田消防次長。

○前田消防次長 消防次長の前田でございます。よろしくお願いたします。

それでは、目別、事業別にご説明をさせていただきます。

まず、目1常備消防費でございますけれども、これは消防本部、消防署の経常経費と活動費でございます。予算額3億6,580万8,000円に対しまして、支出済額は3億6,119万円となっております。支出額が前年度に比べ1億335万6,000円減少しております。この主な要因につきましては、消防救急デジタル無線活動波設備の整備工事が終了したことによるものでございます。

事業別にご説明いたしますので、歳入歳出決算に関する説明書196ページの備考欄、成果説明書につきましては255ページをごらんください。

1、消防給与等管理費の支出済額は3億2,598万1,000円でございます。主なものといたしましては、人件費などで職員46名分、3億1,287万4,000円となっております。

2の警防消防経費の支出済額は1,888万7,000円でございます。主なものといたしましては、救急救命士1名の養成費用、三重県消防学校への入校経費及び消防救急無線設備、これは共通波の管理・整備費の負担金となっております。

続きまして、198ページの備考欄、成果説明書に関しましては256ページをお願いいたします。

新たな事業といたしましては、消防車両の大型化に伴い、消防職員の大型自動車免許取得に係る2名分の費用を34万9,000円支出してございます。また、消防大学校新任消防長・学校長科へ消防長が入校しております。消防救急デジタル無線整備により発生する維持管理の負担金といたしまして247万4,000円、消防救急デジタル無線共通波整備費に係る負担金といたしまして570万3,000円を支出しております。

3の救急救助経費の支出済額は506万6,000円でございます。主なものといたしましては、消耗品費で救急救助活動に使用する消耗品などとなります。また、離島救急患者搬送費補助金といたしまして97万円を100名の方々に支出をしております。

200ページの備考欄、成果説明書にありましては258ページから260ページをお願いいたします。

4の火災予防経費の支出済額は44万円となっております。主なものといたしましては、火災予防などの普及啓発に伴います報償費と消耗品費などがあります。

続きまして、5番の伊勢志摩サミット対策事業の支出済額は1,081万4,000円となっております。伊

勢志摩サミット開催に伴う消防特別警戒業務といたしまして、現地警戒本部の設営整備を行い、県内外12消防本部から16隊120名の隊員を受け入れまして、災害の未然防止及びサミットの円滑な運営の確保に貢献をいたしました。

続きまして、目2非常備消防費でございます。これは消防団の経常経費と活動費となっております。

予算額6,231万7,000円に対しまして、支出済額は6,071万3,000円でございます。主なものといたしましては、消防団員への年報酬、報償費及び消防団活動に伴います費用弁償でございます。

続きまして、事業別にご説明をいたしますので、200ページ、202ページの備考欄、成果説明書にありましては261ページ、262ページをお願いいたします。

1、消防団活性化経費の支出済額は4,968万8,000円でございます。主なものといたしましては、報酬で消防団員497名の年報酬1,214万3,000円、報償費で消防団員退職報償金21名分の745万7,000円となっております。また、費用弁償では、ポンプ操法訓練を初め各種訓練の手当などで1,804万2,000円となっております。当年度におきましては、鳥羽市消防ポンプ操法大会で優勝いたしました答志分団が三重県消防協会南勢支会の代表といたしまして、三重県消防操法大会に出場し、日ごろの訓練の成果を発揮いたしました。

2の消防団災害防禦対策経費の支出済額は1,102万4,000円となっております。主なものといたしましては、各種災害出動手当等の費用弁償で244万5,000円となっております。また、消耗品費では消防団員防火服並びに制服等で387万5,000円、備品購入費では消防ホース32本で110万7,000円を支出しております。

続きまして、目3消防施設費でございます。これは常備・非常備消防に係る施設の整備及び維持管理費でございます。予算額6,569万4,000円に対しまして、支出済額は5,969万7,000円となっております。支出額が前年度に比べ2,164万3,000円減少しております。この減額につきましては、耐震性防火水槽1基の新設工事と南鳥羽出張所新設工事の皆減によるものでございます。

続きまして、事業別にご説明いたしますので、202ページの備考欄をごらんください。

1、消防水利整備経費の支出額は483万8,000円でございます。主なものといたしましては、工事等負担金で消火栓新設改良費などの413万1,000円となっております。内訳につきましては、新設消火栓設置を3基、消火栓改良を1基、それから4基の修繕工事を行っております。

204ページの備考欄、成果説明書は262ページから264ページをお願いいたします。

2の消防車両等整備経費の支出済額は3,532万2,000円となっております。主なものといたしましては、備品購入費で高規格救急車1台並びに高度救命処置用資機材等を更新配備いたしまして3,058万円を支出しております。

最後ですけれども、3の消防施設整備経費の支出済額は1,953万6,000円となっております。主なものといたしましては、委託料で鳥羽市消防庁舎建設工事基本設計、消防庁舎用地の造成工事に伴います設計及び地質調査業務委託を合わせまして1,850万6,000円を支出してございます。

以上で消防費の説明を終わらせていただきます。どうぞよろしく願いをいたします。

○戸上 健委員長 明解な説明が終わりました。

ご質疑はございませんか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 消防通信指令業務、共通波の整備は、今説明してもうたように、もう終わっておると。管理費というのは今後ずっとかかるんですか。

○戸上 健委員長 勢力消防総務室長。

○勢力消防総務室長 勢力です。よろしくをお願いします。

平成28年度から整備が終わりまして、負担金がこれから約10年間かかる予定をしております。当初、設置するに對してのお金がどうしてもかかりましたので、約10年間で返済する予定でございます。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 続いて、成果説明の258ページ、応急手当。これは離島救急患者を円滑に、保健の向上を図りましたとなっておるんやけれども、これは結構、福祉のほうの医療体制、一次、二次の連携はとれておるんです。そやけど、患者が離島の場合、これがやっぱり問題なおるんやけれども、患者輸送の申請があつて、お金を払っておるわけですね。本来、やっぱり町内会でしっかりとしたネットというんですか、もし答志島で出て、輸送してくれる観光船とかない場合は、和具から出るとか、桃取から出るとか、そういう連携がとれていないでしょう。

一つ例を、答志の診療所で脳梗塞の気があると、すぐ日赤へ行ってくれとなった場合、その方は、そういう輸送で手を挙げておる方がおらない場合、定期船なんですよ。この間も脳梗塞で2時間40分、あと一歩で障がいが起こるような状況が起こっておったわけです。そういうことがないように、これはもうちょっと強化してもらえへんかいな。保健の向上を図ったと書いてあるんですけども、結果論。

○戸上 健委員長 消防次長。

○前田消防次長 急患で重症患者の事例を言っていたいていると思うんですけども、昼間ですと、もちろん診療所であつて、診療所の先生が診断を下した段階で、もうドクターヘリをすぐに要請をしております。悲しいかな、天候だとか、夜間はドクターヘリが活用できませんので、その場合につきましては船舶での搬送ということになっておまして、今の段階では補助金で各患者さんのほうから船を手配していただいて佐田浜のほうへ運んでいただいております。

ただ、台風等々で観光船等々が出られない場合、ヘリももちろん飛ばないということで、そういうような事案が起きた場合は、うちのほうといたしましては、警察とか海上保安部、それから伊勢湾防災のほうへ、一般の船が出られない場合はお願いをしておるといふような状況になっております。

実際のところ、ちょうど3年前、26年10月の台風19号の折なんですけれども、そのときも、脳疾患やっと思ったんですけども、患者さんが出られまして、どの船もよう出やんということで、先ほど言わせてもらった各3団体のほうへ連絡をずっとかけさせてもらいまして、最終的に海上保安部の巡視船に出動いただいて、うちの救急隊2名がその巡視船に乗り込んで現地まで行って、こちらのほうへ搬送したというような事例もございまして、今後も最後のとりでとして、やはり海上保安庁がもうプロのプロですので、海上保安庁のほうもそういうような状況があつた場合はまたご連絡くださいといふような言葉もかけていただいておりますので、関係機関と今後も綿密な連携をとって市民の安心・安全を確保していきたいと思っておりますので、よろしくお願

したいと思います。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 うまいこと連携とれたらいい。とれない場合がもう発生したと。その情報は知っていますか。つい最近なんやけれども、この間の台風やわね。結局、最後に出た市営定期船で運んだわけや。それで救急車に待っておってもらって病院に着いたと。本当につい最近の話やもんで、今後そういう連携がうまいこととってもらえるように、海上保安部さん、台風やで出ていくんさな。そうなってくると、一番使えるのは民間もあるんやで、海上保安部の船より伊勢湾防災の船のほうが頑丈やと言われておるんやで。

○戸上 健委員長 その事例は、次長、察知しているの。

○前田消防次長 先ほど言われた事例につきましては、私どもでは聞いていない。段取りよう運ばせてもうたうちのほうは思っておるんですけども、船のやりとりがどうのこうのというような情報は、うちのほうでは把握しておりません。

○戸上 健委員長 尾崎委員、ごめん、消防本部のほうは察知してへん事例やもので、よろしいですか。

○尾崎 幹委員 察知してへんからわかりませんという話じゃなしに、こういう最悪の場合の想定をやっぱり考えといってもらわないかんという話です。それができひんかったわけですよんか。

そやで、今後、後で聞くけれども、公務員やとやっぱり引いてしまうみたいでね。迷惑をかけたらいかんという流れがあるみたいやもので、そこはちゃんと一般人、市民として考えてやってもらえれば一番ありがたいかなと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

続きまして、最後、消防庁舎の整備事業、これは設計業務ですけれども、うまいこと進んでいますか。

○戸上 健委員長 勢力総務室長。

○勢力消防総務室長 順調に進んでおります。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 ただ、1級設計士等が消防署にはおらんわけでしょう。その温度差をどうやって、もしくは、問題が後で起こって、もうないようにしていくためには、消防署自体が設計の内容を理解できやないかんわけですよんか。本当に設計が隅々まで見てわかるようにするために、これは今回、建設に委託されておると聞いておるんですけども、それは事実ですか。

○戸上 健委員長 消防次長。

○前田消防次長 工事に関しましては、建設課のほうへ委託をさせていただいております。ただ、設計業務、去年、基本設計をやったんですけども、業者とのやりとりの中で、うちの職員と、あと建設課に1級建築士の職員が2名おるわけですけれども、その2名の方にも一緒に入っていて、綿密な打ち合わせを業者とさせていただいたということを報告だけさせていただきます。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 ありがとうございます。期待しています。

以上です。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 以上で、消防本部に対する質疑は終わります。

昼食のため、午後1時まで休憩いたします。

(午前11時57分 休憩)

(午後 1時00分 再開)

○戸上 健委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

第9款教育費について、担当課長の説明を求めます。

教育長。

○小竹教育長 最終日のお疲れのところ大変恐縮でございますが、教育委員会の決算報告を担当課長のほうからいたしますので、よろしくご審議をお願いいたします。

○戸上 健委員長 教委総務課長。

○世古教委総務課長 教育委員会総務課の世古でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

3課にわたりますけれども、まず総務課のほうから順次ご説明させていただきます。

款9教育費についてご説明いたします。

決算に関する説明書の203、204ページを、決算成果説明書は265ページから306ページをごらんください。

よろしいでしょうか。

教育費全体における決算額は12億6,540万7,000円で、前年と比較しまして2億1,833万3,000円、約20.8%の増加となりました。この主な要因は、神島小中学校建設工事や答志中学校及び長岡中学校の太陽光発電設備等設置工事などの事業費が増加したものであります。

それでは、総務課が執行した主な事業についてご説明いたします。

神島小中学校校舎建設事業においては、昨年3月に着手した新校舎の建設が完了しました。この事業では、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用して、新校舎で使用する木製の机や椅子など備品の整備を行いました。また、防災拠点でもあります答志中学校と長岡中学校に、蓄電池やLED照明などの太陽光発電設備の設置を行い、避難所としての機能強化を図りました。

次に、新たに実施した事業といたしまして、桃取小学校と鳥羽小学校の統合を進めました。この統合に当たり、桃取小学校の保護者や地域代表者らで組織された桃取小学校統合検討委員会と通学条件などについて協議・検討を行い、通学に必要なスクールバスの購入を行ったほか、閉校記念式典や記念誌の制作等に対し事業の補助を行いました。

それでは、順次項目を追ってご説明いたします。

項1教育総務費、目1教育委員会費につきましては、教育委員会の運営管理とともに、教育委員会の取り組みなどを広く知ってもらうため、教育委員会だよりを年3回発行しております。内容の充実に努めてきました。決算額は、昨年とほぼ同額の276万8,000円であります。

続きまして、205、206ページ、決算成果説明書は266ページをごらんください。

目2事務局費につきましては、教育委員会事務局における人件費など1億270万2,000円を執行しま

した。前年との比較では585万1,000円、約5.4%の減少となっております。この主な要因は、退職手当が減少したことによるものでございます。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 学校教育課の岩本です。

学校教育課が実施いたしました事業につきまして、ご説明させていただきます。よろしく申し上げます。

まず、総務費予算の兵庫県三田市との友好都市提携事業からご説明いたします。

決算に関する説明書の61、62ページ、決算成果説明書は274ページをごらんください。

款2総務費、項1総務管理費、目6企画費の備考欄3、友好都市提携事業です。125万3,000円のうち、学校教育課の事業として神島小学校5、6年児童7名の三田市立母子小学校への訪問交流のための旅費として14万8,000円を支出しております。

それでは、続きまして款9教育費、項1教育総務費、目3教育振興費についてご説明いたします。

決算に関する説明書の205ページ、決算成果説明書は275ページとなります。

目3教育振興費につきましては、5,287万4,000円を支出しております。前年度と比較して5.7%、322万円の減少となっております。主な要因につきましては、決算に関する説明書の備考欄に沿って説明させていただきます。

206ページの備考欄1、教育支援事業におきましては、前年度と比較して55万1,000円増の3,503万1,000円を支出しております。増額の主な要因といたしましては、特別支援学級新設に伴う支援を要する新入学児童に対応するため、特別支援教育支援員を1名増員したことに伴う賃金増によるものです。

続きまして、208ページの備考欄2、教育振興事業におきましては、前年度と比較して382万9,000円減の1,134万2,000円を支出しております。主な要因としましては、消耗品費において、小・中学校の教科書改訂に伴う教師用教科書及び指導書の購入に関して、前年度は小学校9校分であったものが当年度は中学校5校分と減少したことによるものです。

ここで、新規事業である3事業についてご説明いたします。

一つ目は、280ページ下段の人権教育総合推進地域事業です。鳥羽東中学校区において、子供たちの自尊感情や学習意欲を高めるとともに、いじめや差別を許さない集団づくりを進める授業として73万円を支出しております。県委託金73万円を財源としております。

二つ目は、281ページ中段の道徳教育総合支援事業です。加茂中学校における研究発表会を軸に、教科化に向けた道徳教育の研究を推進する事業として60万円を支出しております。こちらも県委託金60万円を財源としております。

三つ目は、281ページ下段の子ども支援ネットワーク・グローイングアップ事業です。神島中学校区、長岡中学校区において、学校・家庭・地域の連携体制である子ども支援ネットワークを活用し、子供たちの自尊感情や学習意欲の向上を図るための事業として12万円を支出しております。こちらも県委託金12万円を財源としております。

それでは、206ページに戻っていただきまして、不用額160万2,000円の主な要因についてご説明いたします。

節7賃金の63万4,000円につきましては、特別支援教育支援員の年間勤務日数実績によるものです。

○戸上 健委員長 総務課長。

○世古教委総務課長 次に、高校生修学支援事業についてご説明いたします。成果説明書は282ページをごらんください。

備考欄3、高校生修学支援事業につきましては、市内の高校生を持つ世帯に対し、通学や下宿の費用を一部負担することにより、経済的な支援を目的とする事業で、支出済額は通学費と下宿費を合わせて650万1,000円で、前年とほぼ同額でございます。

続きまして、項2小学校費についてご説明いたします。成果説明書は266ページから268ページをごらんください。

目1学校管理費では、市内小学校9校における学習環境の充実を図るための備品購入費や工事請負費のほか、用務員の人件費など合わせて9,332万4,000円を執行いたしました。前年と比較しまして814万4,000円、約9.6%の増加となっております。この主な要因は、桃取小学校の統合に伴い、備品購入費で鳥羽小学校スクールバスの購入費用764万6,000円、補助金で閉校記念事業34万6,000円などを執行したことによるものであります。また、前年との比較で大きな差が生じたものでは、弘道小学校バス運転業務が89万9,000円の減額となりました。これは、スクールバスを千賀堅子地区の高齢者の方々に利用するための健康福祉課と経費を折半したことによるものでございます。

そのほか、工事請負費で小学校改修等工事226万3,000円の増額となりました。これは、答志小学校外部改修工事など大規模な工事を行ったことによるものでございます。なお、鳥羽小学校スクールバス購入につきましては、国庫支出金344万円と地方債420万円を財源としております。

以上です。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 それでは、続きまして目2教育振興費についてご説明いたします。

決算に関する説明書は211ページからとなります。決算成果説明書は282ページから286ページをごらんください。

支出済額といたしましては、前年度と比較して3.7%、63万4,000円増の1,787万4,000円を支出しております。主な要因につきましては、備考欄に沿って説明させていただきます。

212ページの備考欄1、小学校教育振興経費におきましては、前年度比559万8,000円増の1,250万3,000円を支出しております。この主な要因といたしましては、備品購入費の増額によるものです。

1点目は、わかる授業を実施し、子供たちがより興味を持って授業に取り組める環境整備を行うため、高度情報通信システム利用教育授業におきまして、新たにICT教育機器を7組購入した費用の増額によるものです。新たに購入したICT教育機器といたしましては、タブレット端末とプロジェクター、スクリーンの3点セットを購入いたしました。ICT教育機器備品購入には繰入金115万6,000円を財源としております。2点目は、神島小中学校に新たに設置する電子ピアノの購入費用によるものです。

次に、次ページの備考欄2、就学奨励事業におきましては、前年度と比較して6万6,000円増の

475万4,000円を支出しております。この主な要因といたしましては、聴覚に障がいのある児童の入学に伴うデジタルワイヤレス補聴器援助システム購入によるものと、その学校教育使用装具購入費補助金によるものであります。

次に、同ページの備考欄3、小学校相談事業、備考欄4、教職員研修事業におきましては、前年度と大きな増減はございません。

○戸上 健委員長 総務課長。

○世古教委総務課長 続きまして、目3学校建設費についてご説明申し上げます。成果説明書は267、268ページをごらんください。

小学校建設事業では、神島小学校新校舎建設工事2億2,484万3,000円や校舎建設に伴う敷地整備工事等1,398万6,000円、備品購入費として机、椅子など木製備品や家具備品等368万2,000円、委託料で神島小学校校舎建設工事監理業務466万9,000円など、合わせて2億4,860万4,000円を執行いたしました。前年と比較しますと9,483万2,000円の増加となっております。

なお、校舎建設の財源といたしまして国庫支出金5,030万3,000円、地方債1億9,200万円を、備品購入費には県支出金209万8,000円、繰入金158万3,000円を活用しております。

続きまして、項3中学校費についてご説明申し上げます。

目1学校管理費では、市内中学校5校における学習環境の充実を図るための備品購入費や工事請負費などのほか用務員の人件費など合わせまして1億4,090万2,000円を執行いたしました。前年と比較しますと4,665万1,000円、約49.5%の増加となっております。この主な要因は、神島中学校を除く4校の普通教室などに空調設備を設置した経費3,685万円が皆減となりましたが、新規事業としまして、防災拠点であります答志中学校と長岡中学校に太陽光発電設備等設置工事を行ったことによるものでございます。

なお、この太陽光発電設備等設置工事の財源といたしまして、県支出金8,141万4,000円と地方債420万円を活用しております。

以上です。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 続きまして、目2教育振興費であります。

決算に関する説明書は217ページからとなります。決算成果説明書は286ページから288ページをごらんください。

支出済額といたしましては、前年度と比較して5.6%、91万4,000円増の1,696万1,000円を支出しております。主な要因につきましては、備考欄に沿って説明させていただきます。

218ページの備考欄1、中学校教育振興経費におきましては、前年度と比較して4万6,000円減の889万7,000円を支出しております。この主な要因といたしましては、小学校費同様、新たにタブレット端末やプロジェクターといったICT教育機器を購入したものの高度へき地生徒修学旅行費の支出がなかったものなどによるものです。

同じく、220ページの備考欄2、就学奨励事業におきましては、前年度と比較して95万5,000円増の776万4,000円を支出しております。主な要因といたしましては、扶助費において就学援助の対象生

徒数が増加したことによるものです。

備考欄3、教職員研修事業につきましては、前年度と大きな増減はございません。

それでは、218ページに戻っていただきまして、不用額の297万4,000円の主な要因について説明させていただきます。

節20扶助費の187万1,000円につきましては、就学奨励費、就学援助費の支給実績によるものです。

○戸上 健委員長 総務課長。

○世古教委総務課長 次に、目3学校建設費についてご説明いたします。

成果説明書は270ページ、271ページをごらんください。

中学校建設事業につきましては、小学校費にもありました神島小中学校建設事業に係るものでございます。事業費につきましては、新校舎建設工事として面積案分した金額2億1,043万6,000円、校舎建設に伴う敷地整備工事1,398万6,000円、備品購入費として532万3,000円のほか、委託料として神島中学校校舎建設工事監理業務437万円など合わせて2億3,517万3,000円で、前年と比較しますと1億1,574万6,000円の増額となっております。なお、学校建設の財源といたしまして、小学校費と同様、国庫支出金などを活用しております。

続きまして、項4幼稚園費についてご説明いたします。

決算成果説明書は271ページ、272ページをごらんください。

目1幼稚園費では、かもめ幼稚園における職員人件費や教育環境の充実を図るための施設修繕工事のほか、委託料で幼稚園バス運転業務など、合わせて4,668万4,000円を執行いたしました。前年と比較しまして418万5,000円、約8.2%の減少となっております。この主な要因は、用務員の退職による人件費の減額等によるものであります。なお、預かり保育事業には国庫支出金61万3,000円と県支出金61万3,000円を活用しております。

以上でございます。

○戸上 健委員長 生涯学習課長。

○榎生涯学習課長 生涯学習課の榎です。

生涯学習課が実施しました事業につきましてご説明いたします。

まず、総務費予算の三田市との友好都市提携事業からご説明いたします。

決算に関する説明書61ページ、62ページをお願いいたします。決算成果説明書は292ページからになります。

款2総務費、項1総務管理費、目6企画費の備考欄3、友好都市提携事業です。

125万3,000円のうち、生涯学習課の事業として、文化交流事業で九鬼嘉隆・守隆のものとして伝わる甲冑などの資料を展示した「三田九鬼家の歴史遺産展」の開催や、スポーツ交流事業で、鳥羽市から三田市へ出向き、両市のバレーボール少年団交流を行うなどの交流事業として59万6,000円を支出しております。

それでは、続きまして社会教育費についてご説明いたします。

決算に関する説明書223ページ、224ページをお開きください。

款9教育費、項5社会教育費は1億2,548万8,000円を支出しております。前年度と比較して4,192万円の減少となっております。詳しくは各目でご説明いたしますが、この主な要因といたしましては、目2公民館費、目6文化財保護費での工事請負費等の減少によるものです。

それでは、各目ごとにご説明いたします。

決算に関する説明書は同ページ、決算成果説明書は292ページから295ページをお願いします。

目1社会教育総務費につきましては、3,739万7,000円を支出しております。前年度と比較して434万9,000円の減額となっておりますが、これは主に人事異動による人件費の減少によるものです。備考欄1の社会教育給与等管理費につきましては、社会教育事務局の運営事業として職員等の人件費などや海の香りのする詩の事業費を支出しております。備考欄2、人権教育推進事業につきましては、人権教育を推進するための社会教育指導員報酬のほか、人権に関する講演会などを開催いたしました。

決算に関する説明書の225、226ページをお願いします。決算成果説明書は293ページ下段から294ページをごらんください。

備考欄3、生涯学習推進事業につきましては、成人式、人材育成講座「地球塾」、放課後子ども教室などの事業を実施しました。昨年度の特徴といたしまして、成人式実行委員会委員と市議がTOBAミライトークで意見交換したほか、地球塾に鳥羽高校生が入塾し、若い人たちの目線で鳥羽のまち案内や観光紹介に取り組んでいただきました。塾に参加した鳥羽高校の生徒たちは、ことし全国の高校生が地域観光プランを提案する観光甲子園にエントリーし、全国84プラン中7位で本選出場し、銅賞を獲得しております。

備考欄4、歴史文化ガイドセンター事業につきましては、ガイドセンターの管理運営経費を支出いたしました。

成果説明書の295ページをごらんください。

備考欄5、社会教育団体補助事業につきましては、社会教育団体の活動に補助金を交付し、各団体を支援しているもので、6団体に支出しております。この中で、鳥羽恐竜研究振興会には、化石発見20周年記念事業を行う費用に対して20万円の補助金を増額いたしました。また、昨年5月に市子ども会育成連絡協議会が加入団体の減少により解散したことから、補助金の支出はありませんでした。

次に、目2公民館費でございます。

決算に関する説明書は225、226ページ下段をお願いします。決算成果説明書は295ページから296ページをごらんください。

支出につきましては、1,061万5,000円を支出しております。前年度と比較し903万8,000円の減少となっております。減少の主な要因といたしましては、備考欄1、公民館維持管理事業での工事請負費の減によるものです。

備考欄1、公民館維持管理事業では、公民館の維持管理に係る費用を執行いたしました。主な支出といたしましては、本浦分館のシャッター設置工事や岩倉分館の屋根修繕を行っております。備考欄2、公民館活動推進事業では、公民館活動の推進のほか、生涯学習講座では新規講座や出張講座などに取り組みしました。

次に、目3図書館費でございます。

決算に関する説明書は227、228ページ、成果説明書は297ページから300ページをごらんください。

い。

支出につきましては、3,291万4,000円を支出しております。前年度と比較して90万9,000円の減少となっており、その主な内容といたしましては、図書館情報システム借上料が再リースにより減少したことによるものでございます。

備考欄1の図書館給与等管理費では、図書館運営経費のほか、小・中学校への出前ブックトークや絵本と紙芝居の読み聞かせ、おはなし会、そして健康福祉課と連携したブックスタートなど、読書推進のための取り組みを行いました。

決算に関する説明書の229、230ページの中段をお願いいたします。

次に、目4補導センター費でございます。決算成果説明書は300ページ下段から301ページをお願いいたします。

支出額は161万3,000円で、前年度と大きな増減はございません。

備考欄1、青少年サポートセンター運営事業につきましては、青少年の健全育成に関する取り組みとして、関係団体等と連携した街頭指導や啓発活動を行いました。

次に、目5コミュニティ事業費でございます。

決算に関する説明書は同ページの下段、成果説明書は301ページ下段をお願いいたします。

備考欄1、コミュニティ施設運営管理経費につきましては、前年度と比べ102万8,000円増の339万7,000円を支出しております。増加の主な要因は、菅島コミュニティアリーナの給湯設備等取替工事費や和室畳表がえ修繕料によるものでございます。

決算に関する説明書の231、232ページをお願いします。決算成果説明書は302ページ、303ページでございます。

目6文化財保護費につきましては、文化財の保護や調査に要する経費など3,954万9,000円の支出をしております。前年度と比べ2,837万3,000円の減少となっております。主な減少の要因は、27年度で実施しました旧鳥羽小学校のり面崩落防止工事に係る工事請負費の減少によるものでございますが、28年度は旧鳥羽小学校校舎耐震改修工事に係る実施設計業務のほか海女文化を生かした活性化構想計画策定業務の委託料で増加となっております。

備考欄1、文化財保護事業では、登録文化財建造物である旧鳥羽小学校校舎の保存活用に向けて、前年度の基本設計に続き、28年度は文化財建造物活用地域活性化事業として、耐震改修工事実施設計業務2,073万6,000円、技術指導業務121万円を行いました。この事業の主な財源といたしましては、国補助金1,249万9,000円、県補助金137万6,000円、過疎債810万円を活用しております。

また、旧鳥羽小関連では、設計に係る浄化槽設置場所の選定のための鳥羽城跡試掘調査業務や、校舎が建築基準法制定以前の建物であることから現行法への適合状況について調査を行うための建築基準法適合状況調査業務82万円を支出しております。試掘調査では、特に出土物はございませんでした。また、適合状況調査の結果は、適合という判断をいただいております。

旧鳥羽小学校の保存活用につきましては、平成27年3月策定の旧鳥羽小学校校舎保存活用計画とこの耐震改修設計をベースに、保存の必要な場所、活用していく場所について、年次的に段階を追って必要な部分を絞

り込んだ形での取り組みを進めていきたいと考えております。

28年度の新たな取り組みといたしましては、海女文化について、地方創生加速化交付金を活用し、教育、観光、水産の各分野が連携した「海女文化を活かした活性化構想計画」の策定も行っております。今後の海女文化を活用した地域活性化について各分野が連携し、中長期的に取り組む方向性をまとめた内容となっております。事業費といたしましては、策定業務委託料756万円のほか、需用費などを含め768万1,000円の支出で、地方創生加速化交付金を全額充当しております。

また、海の博物館の土地建物購入のための不動産鑑定業務費用として、手数料138万2,000円の支出のほか、文化財調査事業では、平成23年度から平成25年度に実施した鳥羽城の発掘調査の成果をまとめた鳥羽城跡発掘調査報告書の刊行費用47万5,000円を支出しております。

続きまして、項6保健体育費についてご説明します。

決算に関する説明書は233、234ページ、決算成果説明書は303ページからとなります。

保健体育費につきましては、1億8,204万9,000円の支出をしております。前年度と比較して666万9,000円の増加となっております。この主な要因といたしましては、運動施設管理運営事業での市民体育館の耐震診断業務委託料534万6,000円のほか、学校給食給与等管理費の給食施設工事請負費の増加によるものでございます。不用額は611万2,000円で、その主なものは保健体育振興費の補助金や学校給食運営事業での賃金等の支出残でございます。

それでは、目1保健体育総務費についてご説明いたします。

備考欄1の保健体育給与等管理費につきましては、スポーツの機会の充実、スポーツ活動の環境づくりなどに努めるための事務局の人件費やスポーツ推進委員報酬費などの支出で、前年度と大きな増減はございません。

次に、目2保健体育振興費です。

決算に関する説明書は233、234ページから、決算成果説明書は303ページ下段からになります。

保健体育振興費の支出につきましては、3,959万8,000円を支出しております。前年度と比べ、各事業での増減はありますが、ほぼ同額の事業費となっております。

決算成果説明書304ページをお願いします。決算に関する説明書は234ページの下段となります。

備考欄1、生涯スポーツ振興事業につきましては、コーディネーショントレーニングの普及の取り組みや学校体育施設を開放するための管理経費、生涯スポーツの振興に係る各種イベントなどの開催に要する経費のほか、スポーツ振興のための補助金など1,719万円を支出いたしました。昨年度と比較して100万円の減額となっておりますが、主に武道振興会の職員退職に伴う運営費の人件費が減少したことによる補助金の減額によるものでございます。

次に、決算に関する説明書235、236ページの中段、備考欄2、学校体育活動事業でございます。成果説明書は、戻っていただくんですけども、289ページの上段と305ページの下段にそれぞれ記載させていただいております。

学校保健安全法に基づく園児、児童・生徒及び教職員の健康のための健康診断、各種検査の費用のほか、小・中学生のスポーツ大会への選手派遣費用補助金など2,240万7,000円を支出しております。昨年度と比較しまして102万6,000円の増額となっております。主に中学生選手派遣事業、日本スポーツ振興

センターの災害給付金の増加によるものでございます。

次に、目3保健体育施設費でございます。

決算に関する説明書237、238ページ、決算成果説明書は306ページをお願いいたします。

保健体育施設費では2,578万4,000円の支出をしております。前年度と比較し486万2,000円の増となっております。主な要因は、市民体育館耐震診断の委託料の増加によるものでございます。

備考欄1、運動施設管理運営業務事業では、市民体育館を含む中央公園の六つの運動施設の管理運営について、指定管理による委託料の支出のほか、28年度は耐震業務を実施しており、耐震診断の結果は耐震力ありとの判定をいただいております。

生涯学習課の説明は以上でございます。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 続きまして、目4学校給食費であります。

決算に関する説明書は、引き続き237ページからとなります。決算成果説明書は289ページ下段をごらんください。

支出済額といたしましては、前年度と比較して1.8%、178万8,000円増の9,987万7,000円を支出しております。主な要因につきまして説明させていただきます。

節15工事請負費につきまして、前年度と比較して89万7,000円の増となっております。中央共同調理場でガス遮断弁、警報器取り付け及び配管工事やとい排水改修工事を行い、下処理室にダクトを設置したほか、答志共同調理場で手洗い設置工事を行ったことによるものです。

また、節20扶助費におきましては、前年度と比較して71万8,000円の増となっております。主な要因といたしましては、就学援助の対象生徒数が増加したことによるものです。

続きまして、不用額311万7,000円についてご説明させていただきます。

節7賃金の114万6,000円につきましては、臨時嘱託職員の出勤実績によるものであり、節20扶助費の54万3,000円につきましては、準要保護児童生徒就学援助費における給食費扶助の支給実績によるものであります。

教育委員会の説明は以上です。よろしくをお願いいたします。

○戸上 健委員長 説明は終わりました。

審議に入りますけれども、説明が各課3課にまたがりましたので、質疑は、まず教委総務課からまとめてやります。総務課が終わったら学校教育課、終わったら生涯学習課という順番でやります。成果説明書のページに基づいてやります。

まず、教委総務課、265ページから質疑はございませんか。

世古委員。

○世古安秀委員 269ページの中学校管理業務の中の工事関係で、答志中学校と長岡中学校に太陽光発電の設備がされております。両方合わせて8,500万円余りの工事ですけれども、これを実際つけてみて、この電気は学校のいろんな教室とかそういうところにも使っているわけですよね。これをつけたことによって、どれぐらい電気代が節約になっているのか、その辺は数字はつかめますか。

○戸上 健委員長 寺本課長補佐。

○寺本課長補佐 答志中学校、長岡中学校に設置しました太陽光発電につきましては、事業としましては、太陽光発電システム及び蓄電池、それからLED照明の設置というような内容になっております。

これは、環境省のグリーンニューディールという国の補助金を活用しておるんですけども、例えば売電をするとかというところは補助の要綱の中でできないことになっております。あくまで避難所施設としての補助機能の強化というところで、例えば携帯電話の充電であったりとか、照明をつけるための蓄電池の設置となりますので、蓄電池の電池を使用するというよりも、あふれた部分を学校内で利用するということはできておるんですけども……

(「できていますね」の声あり)

○寺本課長補佐 できています。ただ、比較というのは、まだちょっと出ておりませんので、そういう答弁にさせていただきます。

以上です。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 せっかくこれをつくって、電気を太陽光発電としたのを学校の教室とかいろんな設備で使えるのかなと思ったんですけども、使えることは使えるけれども、まだはっきりと数字は出ていないということですか。

○戸上 健委員長 寺本課長補佐。

○寺本課長補佐 そうですね。学校での使用状況というのが逐一変化していると思いますので、具体的にどれだけというのはなかなか出すのは難しいかなと思っています。

それから、蓄電池自体も天気によって発電量が変わってきますので、少し難しいところかなと思うんですけども、あふれた部分は利用できているというところでご理解いただきたいと思います。

以上です。

○世古安秀委員 わかりました。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 成果説明の267、工事関係のほうの答志小学校の窓と外部修繕、これはいつ終わっていますか。28年度のいつ完了していますか。

○戸上 健委員長 勢力係長。

○勢力係長 教育委員会総務課、勢力です。よろしくお願いたします。

答志小学校の窓サッシの取りかえというか、既設のサッシにカバー工法という形で新しくサッシをつけ加えたという工事なんですけれども、夏ぐらいです、前年度。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 外部改修も同時やったと思うんさな。いつ完了しますか、28年度の。わからんか。

○戸上 健委員長 これはまだ完成していないの。

○尾崎 幹委員 したよ。それが何月のいつ完了しておるか。

○戸上 健委員長 勢力係長。

○勢力係長 答志小学校の防水の関係の工事というのは、前年度の9月に完成しています。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 サミットのときの海女のあれで総理の夫人が来たのはいつでしたか。

○戸上 健委員長 完成していなかったら繰越明許で出ておるわけやろう。

○尾崎 幹委員 いいですか。あのとき、5月やったね。

それはなぜかという、答志小学校へ行って、本当にもちろん窓枠は悪いし……。

(何事か発言するものあり)

○尾崎 幹委員 9月に終わっておるの。28年度の9月ですか。いつから工事が始まってですか。

○戸上 健委員長 勢力係長。

○勢力係長 ちょっと今、詳細な工期というのはあれなんですけれども、夏休み中の工事でした。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 僕はこれを指摘したと思うんさ、小学校を見に行ったらよって。そしたら、やっぱり外壁も校舎のベランダの上へ落ちておるし、いろいろな補修をせないかん部分がいっぱい出ておったと思うんさな。それが全部完了しておったらいいんやけれども、それ以後、答志小学校を見ていないもので、その中身かなと思っておるもので、その確認をしたかっただけです。

○戸上 健委員長 総務課長。

○世古教委総務課長 たしか私も尾崎委員と一緒に、その現場と言いますか、海女のあれでしたかね、一緒に現場にも行ったと思うんですけれども、今言われました答志小学校の工事につきましては、大規模改修的な工事がまだ必要でありますので、全て終わったわけではありません。

雨漏りを中心とした工事で、あとちょっと一部外部を補修したいですので、これでまた今後、大規模的な工事が必要になりますので、またその点はよろしくお願いします。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 続きまして、268ページ、小学校建設に伴う敷地整備工事。これは小学校費でも上がっておるし、中学校費でも上がっておるんです。別々に学校を建てたわけじゃないと思うんです。やっぱり小・中学校を一つにして、1カ所に物事を建てて、その中で、これを二つ合わせると、小・中一気にかかせてもうてよろしいか。

○戸上 健委員長 はい。

○尾崎 幹委員 敷地整備工事が二つともで2,800万円上がっていますよね。前も指摘したと思うんですけれども、この工事の内容が、やっぱり合理化するために二つを一つにして、敷地は一つになったわけですか。2,800万円のうちの工事関係の平米数が600平米やったかな、コンクリートを打つんぞと。その流れの中で、期間もちょっとあったという話なんやけれども、結局、2,800万円のうち1,600万円仮設費やったやんか。これはどう見てもおかしいですわな。

2,800万円の事業で、仮設費が1,600万円も上がっていたら、これはもう工事じゃないよと、前も指摘したはずなんさ。そやけど、皆さんが通っていたよって、これは予算通っていつておるんやけれども、こういうことが二度とないようにしてください。無駄が多過ぎる。

○戸上 健委員長 答弁するの。

勢力係長。

○勢力係長 舗装工事の件なんですけれども、直工が1,200万円、それに対して間接工事費というところ、諸経費なんですけれども、三重県、大もとは国交省なんですけれども、そちらのほうの積算基準に基づいて経費を出しておりますので、委員がおっしゃられる高いという考えもわかるんですけれども、国の基準に基づいて工事のほうは施工させていただいたところです。

以上です。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 そこまで言うとき。ほんなら今、仮設費の内容はわかりますか。もう言いたくないよってさ。

○戸上 健委員長 もう水かけ論になる。

○尾崎 幹委員 事務所を建てるとか、建ててへんやろうというの。僕は2回見に行っておるんや、確認。建設のほうのときの事務所をそのまま整備工事の仮設費で同じものを使っておるんや。別々につくっているんやったら文句は言わへんと言うの。前にあったものをそのまま使ったのに1,600万円も使っておたらいかんということ言うておるの。

それは積算したらそうなるよ。そやけど、それをちゃんと新しく建設が終わって、その事務所を壊して、また新しく事務所をつくって、その中で一からやっている積算は合っているの。そやけど、それが行われてへんならいかんやろうと言うの。違うの。言えますか。

(「委員長」の声あり)

○戸上 健委員長 答弁するの。尾崎委員も注意で。

○尾崎 幹委員 委員長の言うように、これはもう、一遍質問しておるよって。

○戸上 健委員長 注意でいいやん。

○尾崎 幹委員 言うた言わへんの話になってきるといかんよって、今後はもっとシビアな積算根拠のもとでやっていただきたい。それで確認作業が余りにも少な過ぎる。今後しっかりとやってください。

○戸上 健委員長 それでとどめておいてください。

○尾崎 幹委員 ここはもうそれだけです。

○戸上 健委員長 あとはよろしいか。質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 副委員長、ちょっと。

(委員長交代)

○木下順一副委員長 委員長。

○戸上 健委員 僕から1点お聞きします。272ページの幼稚園管理業務についてお尋ねします。

定員は180人になっているはずですが。28年度の決算書を見ると55人です。ですから、125人の定員を余してこの人数になっております。その幼稚園児の数も63、63、60というふうに減ってきて、60人台から55人台になっております。

幼稚園というのは、こういう方向をこれからも続けていくのか。幼保一元化こども園という方向も国のほう

から出ております。28年度の決算の中で、教育委員会として、そのあたりは協議なされたのかどうか。その点を聞かせてください。

○木下順一副委員長 世古課長。

○世古教委総務課長 戸上委員おっしゃられますように、少子化になって、公立のほうも含めて必要かと思えますけれども、今のところ議論はしておりません。

(何事か発言するものあり)

○世古教委総務課長 財政的にも厳しいと思われまますけれども、やはり幼稚園と保育所のあり方の中で今後また検討していく余地はあるかなと思えますけれども、今すぐ人数的なものであるということは、現在はありません。今後また検討していきたいと考えております。

○戸上 健委員 わかりました。

(委員長交代)

○戸上 健委員長 ほかにご質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 それでは、次に273ページ、学校教育課の分野についてご質疑をお願いします。290ページまで。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 成果説明で275ページ、教育支援センター事業の中の相談と電話です。

小・中学生を合わせて電話で401、個別面談が748、この数字は問題ですか。問題になったの。学校教育課長やね。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 問題というのは、どういう……。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 その下に相談内容がありますやんか。ご存じのように不登校、もう見てもわかりますやんか。これは問題にならへんの。そこで何が起こったの、その前の年に。

それから見ても、この数は減っておるの、ふえておるの。ひとりの命がなくなっておるんやに。そういう問題の中で、これがまたこれだけの数字が上がってくるということは、僕の中では問題やと思っていますんやわ。

そやのに、教育委員会の臨時は一つも行われてへんわけや。定例の11回だけや。教育委員会に危機感がなないんじゃないかと、そういう判断をさせてもうておるんやけれども、それに問題はありますか。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 今ご質問いただきました相談件数につきましては、増加傾向にあるところではございますが、増加傾向に全て課題があるというふうに捉えておるのではなくて、相談する場所、面談する場所がHAR Pにあるというようなことを十分学校を通じて保護者の方等に周知をしておるというようなことから、少しでも心配がある、気になるようなお子さん、保護者の方等が見えた際に、相談できるというような体制が少しずつでも整ってきているのではないかとというふうな捉え方をしておるところです。

相談内容等につきましては、HAR Pの指導員が2人おりますので、そちらのほうと定期的に、相談内容で

あるとか、どういう形の面談があったかということは報告を受けながら対応をさせていただいておるといふところでは。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 不登校傾向にある児童生徒に対し支援を行いました。電話と個別面談が重なっている部分があると思う。そやで、個別面談で物事を話させてもらったとしても、1年間で433の個別面談を不登校でせないかんというのは、僕は教育委員会の問題やと思うんですよ。それを問題とするかたらへんかは教育委員会の考え方なんやけれども、私が常識から考えても、本来、不登校なんかあつてはならないと思つておつたもので、鳥羽市の433件の不登校に対しての個別の面談をせないかんというのが普通ならば、鳥羽市の教育委員会はおかしいと思う。

そこら辺を改善したとなつておるんやつたらいいけれども、支援ですよ。改善傾向がふえておると言ひましたよ。悪くなつておるのに、それを問題視しいひんという。そしたら、この教育支援センター事業というのは何やつたんやということになつていかへんかということに対して、問題じゃないかなと言ひますか。

○戸上 健委員長 尾崎委員、28年度決算やもので。

○尾崎 幹委員 いや、決算やで、百何万結果としてやに。

○戸上 健委員長 岩本学校教育課長は29年4月から着任やもので、そやもんで、指摘をです。

学校教育課長、今の決算委員会の委員の指摘を受けとめますというふうにしておいてください。

それでよろしいか。

(「委員長」の声あり)

○戸上 健委員長 教育長、答えてください。

(「一言よろしいでしょうか」の声あり)

○戸上 健委員長 はい、どうぞ。

○小竹教育長 学校運営の根幹にかかわるところでございますので、お答えさせていただきたいと思うんですけども、正直なところ、少子化の中で不登校が減っているかということ、そうではないんです。

じゃ、その原因は何かというふう考えたときに、少子化の中で、子供たちのたくましさは一つはなくなつてきているという事はあると思ひますし、いろんなところから指摘がございまして、多角的な考え方を今しております。

逆に相談件数がふえたということは、これはHAR Pの認知度がふえたことだと私は思つておるんです。

(「うまいこと逃げたな」の声あり)

○小竹教育長 いえいえ、実際に通級生徒は劇的に減つております。大分減つてきておりました、以前は十数名を超えていたときもあつたんですけども、今は3名、ことしで2名です。

そのように、不登校の実態につきまして、早期に丁寧に対応しておるものですから、それが相談件数とか電話相談、面談に来るんですけども、その辺で早期に対応しているから、重度に陥らずにHAR Pの通級生が減つていくというふうには私は受けとめておりますので、現状、100%とは申しませんが、その実績というのは、私はあるというふうにお考えしております。

以上です。

○戸上 健委員長 教育長、それで結構です。決算委員会の場合は、教育論を闘わず場ではありませんで、予算執行した学校環境整備、そういったものに対して、それを十分執行したかどうかということをチェックするのが我々の仕事ですので、また文教産業常任委員会で教育論については深めてください。

尾崎委員、それでとどめておいてください。

(「関連」の声あり)

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 数字の見方だけちょっと聞きたいなと思いますので、すみません。

センター事業のところの数字の見方なんですけれども、電話の件数というのは延べ件数ということですよね、1年間。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 そのとおりです。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 それと、通級の内訳のところは小学校5年から中学校3年生ということなんですけれども、4年生以下というのは数字として前回も上がってきていないんですけれども、その辺はあれですか、利用する人の実績がそれしかないのか、ちょっとその辺の説明をお願いしたいと思います。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 昨年度実績が小学校5年生から中3までの学年であったという実績に基づいての記述となっております。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 ありがとうございます。

27年度を見させてもっておっても5年生以上なので、下のほうに利用がないというのはあれなのか。あってもないのか、相談がないのかとかいう部分もちょっとわかりませんが、わかりました。ありがとうございます。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 続きまして、これに関しては、なぜここまでが言ったかというのは、道徳教育がスタートするんですよ。その道徳教育の中がやっぱりしっかりとみんなが行えるようになってきて、もちろん教育長が言うたようにHARPを設置したもので、受け皿が広がったという考え方を言われると、そうかもわからんけれども、それが違う方向で動き始めておるのに、この数字はちょっと異常かなと思いましたもので。

次に、283ページをお願いできますか。

小学校費なんですけれども、これは中学校もあるんですけれども、理科・算数教育の充実を図るために教材を買っているんですけれども、ことしだけなんです。この部分を理科・算数という部分に絞られた理由は何なんです。

○戸上 健委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 こちらについては国のほうから、理科・算数については教材が、特に理科は実験器具等も

必要になってきますので、特別に補助金等も出る関係から、このように理科・算数は特別に出ささせていただいておるといことで、昨年度に限ったことではなく、毎年このような形で備品のほうを購入させていただいておるところです。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 中学校も一緒に、同じ考えていいんですね。

○戸上 健委員長 よろしいですか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 続きまして、284ページをお願いします。

学校音楽祭事業ですけれども、文化会館で音楽の発表会をしていただいて、いつも小学校の方々もね。これは、交通の船とか借上料はわかるんですけれども、音響機器は文化会館の音響機器ではだめやったんですか。そこら辺をちょっと詳しく。それならば文化会館のほうに備品をそろえることが一番大事やという考え方を持つもので。

小学校の9校の児童たちが音楽発表をするための材料すらも鳥羽の文化会館にはないのかなと思って。そこら辺をちょっと詳しく教えてください。

○戸上 健委員長 教育長。

○小竹教育長 私も音楽祭等いろんな会合で出させていただくんですけれども、普通に講演するというのであれば、あの設備で十分なんです。ところが、音響の設備になりますと、音楽祭になりますと、音が非常にこだわることができますので、ミキサーとかアンプとか、その辺のところ为上質のものを使わせていただくということで、このようにお願いしております。

○尾崎 幹委員 わかりました。足りないという考え方をしておきます。

とりあえず以上です。ありがとうございます。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

山本委員。

○山本哲也委員 学校給食運営事業のところなんですけれども、今、ニュースとかでもなっていますけれども、鳥羽市のその辺の残しぐあいじゃないですけれども、ああいうことはないのかなというところだけちょっと確認をさせていただきたいなと思います。

○戸上 健委員長 28年度でそういう事態があったかどうかということでお答えください。

学校教育課長。

○岩本学校教育課長 特に大きなそういった実態はございません。

○山本哲也委員 ありがとうございます。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

私から1点。副委員長、すみません。

(委員長交代)

○木下順一副委員長 委員長。

○戸上 健委員 283ページ、小学校教育振興事業で、当初予算では学校図書標準冊数不足解消として55万

円計上されておりました。この中にその記述がありませんけれども、解消されたんでしょうか、28年度で。

○木下順一副委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 28年度末の状況でございますが、全ての小学校でトータルすると達成率が105%、中学校が70%、小・中を合わせて91%ということになりますので、中学校のほうではまだ十分達成できていない状況であります。

○木下順一副委員長 委員長。

○戸上 健委員 そうしますと、不足分を解消するというので55万円を我々議会は認めたんですけども、55万円では足らなかったという理解でよろしいんでしょうか。

○木下順一副委員長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 廃棄分等もございますので、結果としては、そのような結果となっております。

○戸上 健委員 わかりました。

○木下順一副委員長 交代します。

(委員長交代)

○戸上 健委員長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 生涯学習課関係で質問は大分ありますか。

一つ、二つであれば、もう続行しますし、相当あるのであれば休憩しますけれども。

尾崎委員、どれぐらいありますか。

○尾崎 幹委員 3件の予定です。

○戸上 健委員長 ほかにありますか。

(何事か発言するものあり)

○戸上 健委員長 どうも10件ぐらいあるので、10分間休憩します。25分まで休憩します。

(午後 2時13分 休憩)

(午後 2時23分 再開)

○戸上 健委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

生涯学習課分野についての質疑はございませんか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 成果説明の296ページ、公民館維持管理事業、分館が、これは主事が24人やで24件あると思うんですけども、これの内訳を一遍出してもらえへんかいな。というのは、修繕で終わっておる部分があるんですけども、改築という考えも起こらないかん部分があると思うんです。それを後回しにしておるんじゃないかなと、ちょっとこれを見ておると思いますので、また見せていただきたい。そんなんは出してもらえるんかいな。どうですか。

○戸上 健委員長 生涯学習課長、出せますか。

○榎生涯学習課長 また後で相談させていただいて、各公民館を見回っている中で、修繕とか、それと例えば設

備の更新とかが必要になってきているところがございます。建てかえという話ですと、またちょっと別の話になってきますので、これまで補助というものがあつた中で建設してきた状況ではございますけれども、今後は、なかなかそういう建てかえの話になってくると、また別のことも考えないと。公民館でいいのか、コミュニティセンター化していくとか、そういうことも含めた検討が必要になってきます。

ただ、今、現状あるところの長寿命化であつたりとかという部分については、見回りながら年次計画的にやっていかないかん部分もございますので、把握している中でやっていきたいところを表にまとめたものをまたお示しさせてもらうということではよろしいでしょうか。それは、委員長。

○戸上 健委員長 榎さん、文教の委員長と相談しておいてください。

寺本さん、体調が悪ければ休んでください。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 課長、今言わせてもうたのは、これが終わった後に委員間討議があるんさ。その中で、みんなが認めると、改修に関しても、ひよつとすると来年度予算案にはめ込めということが、みんなが総意してもらったらできるという。やっぱり温度差がちょっとできておるか、できていないかという確認をみんなができたら。余りひどいよなというものは即座にかえようという、みんな合意形成のもとでいけるようになっておるので、それは使いようやと思ったもので聞いただけで。ありがとうございます。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 続きまして、300ページをお願いします。

図書館運営事業費、購入費が500万円上がっているんですけども、値段はいろいろやと思いますけれども、大体何冊ふえたことになるんですか。何冊か数で教えていただきたい。

○戸上 健委員長 杉田係長。

○杉田係長 図書館の杉田です。よろしくをお願いします。

前年度の購入冊数は3,048冊です。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 27年度とか28年度の所蔵の数が減っておるわけですよ。27年度から28年度の数を引くだけで207冊減っておるんですよ。それで28年度は3,408冊買っておるということは、トータルでいくと3,615の本が前年度より減っておるという計算ができるんやけれども、その3,615冊というのはどうされておるんですか。廃棄ですか。

○戸上 健委員長 杉田係長。

○杉田係長 図書館は、新しい本も入れているんですけども、ただ、古くなった本については、状況等を見て廃棄等しております。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 廃棄せざるを得ないぐらいぼろぼろという。ぼろいと言ったら怒られるかもわからんけれども、そういう本を欲しい方がおるとか、また幼稚園とか、小学校とか、中学校に、回し使いと言うたら怒られるかもわからんやけれども、そういう形もとっているのかなと思つたもので。そういう形は一切とっていないわけですね。

○戸上 健委員長 杉田係長。

○杉田係長 図書館では、年2回、廃棄した本とか、あとは寄贈していただいた本でも図書館の本とダブっていたりした本についてはリサイクルフェアを行っていきまして、そちらで市民の方に見ていただいて、市民の方に持っていってもらったりということはしています。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 3,600ぐらいの本が1年間でなくなっておる、この図書館の中で。それで、もらっていただけおるとかリノベーションでもしながら次へ動いておるような本というのは何冊ぐらいあるんですか。

○戸上 健委員長 杉田係長、リサイクルフェアでリサイクルできた冊数を言うてやってください。

杉田係長。

○杉田係長 28年度のリサイクルフェアで持っていってもらった本の冊数なんですけれども、春と秋と2回やりまして、合計で3,682冊持っていってもらっています。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 わかりました。頑張ってもらってありがとうございます。

続きまして、302ページをお願いします。

文化財保存推進事業、鳥羽小学校の実施設計業務委託、これに2,000万円ついていますよね。その下に技術指導業務委託120万円とついておるんですけれども、本来、これは文化財ですよね。設計業務委託の会社は、一般のところは設計を依頼して技術指導を行うという解釈でいいのか。それとも、本来なら、文化財の改修工事はやっぱり専門のところへ出してという流れがあると思うんです。この下の技術指導業務委託というのは何なんですか。できたら教えていただければ。

○戸上 健委員長 豊田主査。

○豊田主査 生涯学習課の豊田です。よろしくお願いたします。

普通、国宝とか重要文化財などの建造物の場合は、尾崎委員がおっしゃられるように、そういう専門の設計業者さんがやることになっておるんですけれども、旧鳥羽小学校の場合は国の登録有形文化財ということで、重要文化財よりもクラスとしては下がるわけですので、重要文化財ほど厳密な形ではやらなくていいということがあります。ですので、一般の設計士さんでも構わないんですけれども、ただ、全く文化財的な知識がないと、またそれはそれで保存上困りますので、文化庁のほうから、その場合は資格を持った人に技術指導をもらうようにして進めてくださいというふうな形をとっております。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 一般のところの設計になったという話ですよね。文化施設の本来的な専門業者というんですか、そこにすると一般と比べたらやっぱり高くなるわけですか。どうですか。

○戸上 健委員長 豊田主査。

○豊田主査 やはり国とか重要文化財を扱う業者さんになりますと、本当の特定の業者さんになるかと思うので、その分、費用も当然かかってくることになると思います。

○戸上 健委員長 尾崎委員。

○尾崎 幹委員 安く上げるための手法やったと考えてもよろしいんやね。

○**豊田主査** 文化財ですので、安くなるからいいというわけではないんですけれども、文化庁の指導としては、そういう場合は指導者をつけろという形になっております。

○**尾崎 幹委員** わかりました。ありがとうございます。

以上です。

○**戸上 健委員長** 山本委員。

○**山本哲也委員** 先ほどの尾崎委員の302ページの文化財のところの関連になりますかね。

たしか旧鳥羽小学校の何か一回講習をやりましたよね、文化会館のほうで。建物の価値がどんなにかというようなところの講習があつて、私もちょっと拝聴させていただいたように思うんですけれども、そのときに、幸いにも余り手がついていなかったことで、結構原形が残っておつて価値があるような感じのことをおっしゃられておつた。今までだと、耐震とか、そういった途中で手が入っていないことで、建物の価値的にはそれなりにあるというようなニュアンスのことを言っておられたような気がするんですけれども、こうやって改修することで、外観が変わったりとか、何かそういうようなことはないんですか。

○**戸上 健委員長** 豊田主査。

○**豊田主査** 設計をしていく前に、平成26年に保存活用計画というのを策定しておりまして、その中で、改修していくに当たって、あの建物の特に文化財的な価値があつて残していかないといけない部分とか、このあたりは後世に手が入っているので、ある程度やりかえても大丈夫だろうとか、そういうふうなところで部分分けをしておりまして、その中で、特にきちっと残していかないといけない部分、ここは手が入っているのである程度やりかえてもいい部分というふうな形で方針を立てておりますので、それにのっとり設計を行っております。

○**山本哲也委員** わかりました。ありがとうございます。

続けてよろしいでしょうか。

○**戸上 健委員長** 山本委員、どうぞ。

○**山本哲也委員** 成果説明書の291の予算執行を伴わない事業のところ、九鬼水軍楽市と一緒に開催したコミチマーケット、ここでも先ほどの鳥羽小学校をあけていただいて、大変多くの方が行っていただいたのかなというふうに思うところがありまして、こういった事業、イベントとか、その辺を上手に活用した大変いい事業であつたのかなというふうに思います。

あと、その下の地球塾においても、いろいろ鳥羽高とのという部分、そこはすごく結果も出てきておるので、ここに書いていただいておりますので、これは褒めておきたいなというふうに思います。

これからもこういう新しい視点とか発想を持って取り組んでいただければ大変いいのかなというふうに思いますので、今後もぜひこういった新しい発想をどんどん使っていただきたいなと思います。

めくって292ページの友好都市提携事業と、294の歴史文化ガイドセンター事業のところの関連でちょっとお聞きしたいんですけれども、「三田九鬼家の歴史遺産展」を開催されたということで、294のほうで、総入館者数やと思うんですけれども、2,305名。292のほうですと、三田の担当者が来ておつたときの420名という書き方になるのかなと思うんですけれども、両方とも開催期間を教えてくださいなというふうに思います。

○戸上 健委員長 豊田主査。

○豊田主査 三田九鬼家の歴史遺産展については、28年10月8日から11月6日までとなっております。

ガイドセンターの利用者ですけれども、ちょっと月単位でしか手元には資料がないんですけれども、10月、11月で400名ほどとなっております。

○戸上 健委員長 生涯学習課長。

○榎生涯学習課長 成果説明書に記載の友好都市のほうの入場者420名、これは企画展の部分を抽出させてもらったもので、歴史ガイドセンターのほうは、これが歴史ガイドセンターの入館者数ということでご理解いただきたいと思います。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 2,305がガイドセンター自体の年間入館者ということでよろしいですね。

○戸上 健委員長 生涯学習課長。

○榎生涯学習課長 ここは展示物のところを見に来ていただいた人ということでございます。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 292の何度も言うところの420名というのが10月8日から11月6日の入館者数ということでよろしいんですね。

ありがとうございます。

1カ月、鳥羽の日からやっていたやつを私もちょっと見に行ったんですけれども、なかなかおもしろい企画やったのかなと思うんですけれども、420という数字やとちょっと寂しいなというところもあったので、この辺のPRはどのようにされたのかなというところを教えてくださいなと思います。

○戸上 健委員長 豊田主査。

○豊田主査 山本委員のおっしゃられるように、当初は担当としてはもう少し見に来ていただけるものだと思っておったんですけれども、ちょっと資料提供の時期が、かなり秋のイベントが立て込んである時期であったりとか、そういうふうなところもありまして、なかなか取材に来ていただけなかったとかいうこともございましたので、今後、企画展等の催しをするときは、時期とか広報の仕方をもっと少し考えたいなというふうに思っております。

○戸上 健委員長 山本委員。

○山本哲也委員 ちょうど僕が行ったときに、アイティビーさんが取材に来ておったときやったので、結構、期待はしたんですけれども、成果を見てみると420ということなので、今後はしっかりとPRしていただいて、ちょっとでも。

(何事か発言するものあり)

○山本哲也委員 落ちがつかしましたので、とめさせてくださいなと思います。

以上です。ありがとうございます。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

河村委員、よろしいの。

○河村 孝委員 はい。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

副委員長、ごめん。

(委員長交代)

○木下順一副委員長 委員長、どうぞ。

○戸上 健委員 1点お聞きします。成果説明書305ページの学校体育振興事業についてお尋ねします。

当初予算規模が543万円で決算額が475万円で70万円ぐらい残しております。2020年の東京オリンピックとその後の国体をにらんで、ここに書いてありますように、鳥羽の小・中学生のさらなる体力・競技力の向上というのを図れなければならないというように思うんです。決算額を見ると、これは十分使いこなしていないというような感じもするんですけども、何でもこういうふうになったのでしょうか。

○木下順一副委員長 中村係長。

○中村係長 生涯学習課の中村です。よろしくお願いします。

学校体育振興事業の残ということでよろしかったですね。

○戸上 健委員 はい。

○中村係長 こちらは、主に小・中学生の大会に参加するための派遣、旅費の補助金となっております。鳥羽志摩で開催するものとか、県大会とか東海等ありますけれども、その年度年度に応じて、特に団体競技で東海とかに行きますと、もちろん金額が増額するという傾向があつて、もちろんそこに勝ち上がっていかないと、こういった補助金のほうが残として残ってしまうというような傾向。一概には、個人競技もありますので、大きく動くのは団体競技で東海とか、三重県でも伊勢で開催するのといなべて開催するのには、宿泊費とかが関係してきますので、そういった部分でどうしても年度年度での差というのが出てきます。

以上です。

○木下順一副委員長 委員長。

○戸上 健委員 それは残念な。勝ち上がっていけば逆に使われたというふうに思うんですけども、その要因として、本来、あなた方がアスリートを鍛えるためのいろんな設備が必要ですね。それが、なかなか手元不如意といいますか、財政難で買えない。買って安物しか買えないと。そのために鳥羽の小・中学生の本来伸ばせる競技力が阻害されているというような事態は、この28年度の決算からは別に心配ありませんか。もう少し小・中学生の体育振興のための予算を10%でも20%でもふやしてほしいという思いなのか、そのあたりはいかがでしょうか。

これも委員間討論にかかわってくるんです。みんな鳥羽の小・中学生がオリンピックに出場してもらいたいとか、国体で活躍してもらいたいというふうに願っておるはずなんです。そのために今、28年度の予算も一定組んだというふうに思うんですけども、今後の予算編成にもかかわってきますので、担当としての思いをちょっと聞かせてください。

○木下順一副委員長 中村係長。

○中村係長 もちろんスポーツをやる以上、環境というのはやはり非常に大切になってくるというふうに担当では思っています。もちろん環境が100%いいから必ずしも全国大会に出られるとか、優勝できるとかというところは、また別問題になってきますけれども、やっぱり環境というのは、いい環境のもとに子供たちがスポ

一ツを通じて健康な体とか競技力を高めることは大変いいことだというふうに考えております。

以上です。

○戸上 健委員 わかりました。

○木下順一副委員長 かわります。

(委員長交代)

○戸上 健委員長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 ないようですので、以上をもちまして本日の委員会を終結します。

お疲れさまでした。ご苦労さまでした。

引き続き委員の皆さんは本日の振り返りを行いますので、執行部の皆さんは退席をお願いします。

それでは、本日審査した範囲の振り返りを行います。

委員の皆さんで取り上げたい事業等がございますか。各自出してください。

きょうは、観光、建設、消防、教育委員会という分野でした。

(「順番にですか」の声あり)

○戸上 健委員長 いえ、順番でなくてもアトランダムで結構ですから。

片岡委員。

○片岡直博委員 道路維持費の増額、これは継続して執行部のほうに優先してほしいんです。というのは、バックしてしもうたんですけれども、国から8,700万円を道路維持費に使いなさいと充当しておるやつをちょん切って3,000万円というふうな、そういう配当をしておる。それで建設課も要求しておる。俗によく切れるので、切った、切ったと言うんですけれども、全体的な配分もあるんでしょうけれども、要望をしておかないといかんと思いますので、ひとつよろしくをお願いします。

○戸上 健委員長 まず出し合ってください。あとは委員間討論でやります。

世古委員。

○世古安秀委員 建設のほうでありました地籍調査の推進というのが重要なというふうに思っておりますので、拡充というか、大分、副市長も必要性というのは理解していただいていますし、担当ということでね。ただ、やっぱり人員が必要ということで、そういう職員配置というふうな、いろいろな囑託とかそういうのも開発公社からも職員を派遣してもらったりというような格好で今までやっていましたので、さらに進めてもらうようにしていただきたいなと思います。

特に、そのときに話をしましたけれども、どんどんと鳥羽市で高齢化が進んでいると、実際に立ち会いをするにしても話を聞けへんような状態になってくるというふうなことで、これはもっと早く拡充を、地籍調査の促進をすべきかなというふうなことは、1点、思います。

(「関連」の声あり)

○戸上 健委員長 はい、どうぞ。

○片岡直博委員 まさに世古委員の言われるとおりで、1キロ平方やると縄延びというて100万円ぐらい増税になる。税収が上がるというメリットが一つ。それともう一つは……

○戸上 健委員長 今回、委員間討論でそれをテーマとしたときに、今のやつを言うてください。

○片岡直博委員 ということで、賛成ですということです。

○戸上 健委員長 今、地籍調査の促進について、二つ目の項目です。

ほかにございませんか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 消防施設の整備維持の管理の拡充を。もう本当に災害が起こっていち早く潰れるというようなところが、まだまだ岩倉にしても坂手にしても。やっとなし菅島やったかな、行われておるぐらいで、見ていくと、本当に消防団活動ができひんようになるというのがもう見てわかるような。これの拡充をお願いしたい。

○戸上 健委員長 施設の充実ですか。

○尾崎 幹委員 施設の充実、消防団格納庫の施設の充実。消防本部は今年新しくつくるのはもう決まっておるよって、ちょっとびっくりするようなどころがありますので。

○戸上 健委員長 他にございませんか。

私から1項目は、成果説明書の216ページの観光課がやった観光経済波及効果の調査結果なんですけれども、新たな方向が見えたので、単に観光課だけではなくて企画や農水商工があわせて、この分析結果を鳥羽の地域活性化、産業振興にどう生かすかというのを検討してもらう必要があるんじゃないかと。議会のほうも、またこれは別ですけれども、報告を受けて、レクチャーを受けて、議会としても知恵を絞るということが必要じゃないかというふうに思いましたので、これを1項目、検討していただきたいというふうに思います。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 今、委員長の言われたように、観光課の事業がかなりあるんです。観光課の事業は、目的があるもので、目的にこの1年でどこまでいったとか、そういう予算の中の達成度というのを示すべきだと思うんやけれども、それは違うんですか。

○戸上 健委員長 それは大事なことで、これは最後でまた全体にかかわることで言おうと思っておったんですけれども、各課にそれは、尾崎委員、かかってきますもので、ちゃんと費用対効果の効果がどうやったかというのをもうちょっと詳しく解明するよというのは当然だと思いますもので。

○尾崎 幹委員 東京派遣なんか、みんなが評価したわけですから。

○戸上 健委員長 あとよろしいですか。4項目今上がりましたけれども。

(「はい」の声あり)

○戸上 健委員長 それじゃ、まず最初の道路維持の増額の件です。

これは、片岡さんがさっきおっしゃった、途中になりましたけれども、本来8,700万円の道路維持財源が鳥羽に来ておるはずで、そのうち3,000万円か4,000万円しか当初予算では計上していない。財源的にそれはきちんと本来使うべきじゃないかということでしたけれども、その点をもう少し詳しく説明してください。

○片岡直博委員 国から、道路延長とか、道路面積、河川の延長等を含めて、維持費のために充当してくれるんですよ。ここに書いてあるとおり、この維持費のために使いなさいと。それで、約5,700万円、

5,800万円という決算額に対して、当初予算が3,000万円しか盛っていない。そやで、最低でも国からの維持費に係る約6,000万円ぐらいは予算をつけてもいいんじゃないかという考え方です。しかも、町内会からの積み残しもいっぱいある。そういったことを解消するために充当すべきでないかということです。

○世古安秀委員 片岡委員が、何か歳入のほうでここにこれだけの数字がありますよと言いかけてましたやんか。言いかけたそれをちょっと説明してもらおうかな。

○片岡直博委員 3ページの2、地方譲与税、地方揮発油税で1,600万円、それから自動車重量譲与税で3,800万円、次のページの地方道路譲与税として100万円、合わせて5,700万円。こうやって国からの補助金が来ているわけですよ。目的税にはなっていないみたいなんです。何に使ってもいいよと。

○戸上 健委員長 特定財源なんやな、国がこういうところに使いなさいと指定してきた国の交付金ということですね。

○片岡直博委員 そういったことで、そういう国からの道路維持のために充当してくれておるやつぐらいは使ったらどうですか。

○戸上 健委員長 これは財政当局と一遍協議せなあかんやろうな。
局長。

○濱口議会事務局長 この税もそうなんですけれども、交付税が一番代表的な税であるんですけども、財政は、その辺をやりくりしながら十分な配置をして実施計画という形でいろんな部分の大きなかかる費用を算定していますので、ここで道路だけという話はちょっと難しいのかなというふうに私は思いますので、その辺は、聞くことはできますけれども、なかなか十分な配置をというところにはつながらないのかなというふうに私は思うんです。そこら辺は十分考慮いただきたいなと思います。

○戸上 健委員長 議長。

○浜口一利議長 道路維持のお金というのは、本当に二、三年前は3,000万円ぐらいで、ことしだけ5,000万円かな、そんな形になっておると思うけれども、少ないのは少ないんです。確かに2億8,000万円積み残しがあるという形の中で、これを上げてほしいというのは当然討議しながら、財政が許すということであれば、もうこのほうを少し手厚くやってほしいという申し込みはできると思うんですけども。これは当然、もう少し増してほしいというのは言えいいと思いますし、地域でも市内でも道路は悪いわけなので、そのあたりは申し込みすればいいと思います。だけど、その理由づけというのを今のでいくかどうかというのは、ちょっと検討しないといけないと思うんですけども。

○戸上 健委員長 財政当局とも協議して可能な配分ができるように、そして局長が言うたように、ほかがぎくしゃくせんように、議会としては配慮することが大事やと思う。
局長。

○濱口議会事務局長 11月の終わりか12月までに実施計画と財政見通しという形で財政のほうにまた説明をしてくれます。そのときに、こういった部分はどうなっておるのやという話もできると思いますので、そこら辺で問うたらどうかなというふうには思います。

○戸上 健委員長 わかりました。

○浜口一利議長 議会からは、当然、道路の維持費用というのは本当に少ないと思うので、そのあたりをふやし

てくださいというのは言えがいいと思います。これは、本当に少ないもん。

○戸上 健委員長 わかりました。

道路改修は、さっきも建設課長が答弁しておったように、130カ所、1億2,000万円か、まだそれだけ残っておると。それはもう減るどころか、若干件数はふえておるという答弁でした。そやもんで、道路維持補修費を増額するということには、議会としては異論ないわけやけれども、財政全体の枠は決められておるので、その中でどう配分するかというのにかかわってきますもので、さっき局長が発言したように、11月に財政当局の説明を受けるときに、議会としてもそれに対応するというふうに、この1番目はしたいと思います。それでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○戸上 健委員長 次に、地籍調査の促進です。

この点について委員の皆さんのご意見はいかがでしょうか。

尾崎委員。

○尾崎 幹委員 早く済むことにこしたことはないやけれども、僕も、これをずっと続けておる中で、おくれおるやないかと言いに行くと、やっぱり相手があることやもので、建設課のほうでは予定しておっても、相手がいかに言うたら、もうひどいのは半年先までできひんとか、そんなんが出てきておるのが現状やもので。相手あつての話やもので。立ち会いなんやで、一番必要なのが。

○戸上 健委員長 しかし、今、世古さんも言うたように、建設課長が提案したけれども、チームが二つあれば、今の速度を30年以内に、50年と言うておったけれども、これは済みそうやという提言書も出しておるわけやわな。そやで、世古委員がおっしゃったように、仮に囑託でも臨時職員でも別の3人ぐらいのチームをつかって、そして2チームでやるということになれば、それに年間200万円としても1,000万円も要らんわな。荒唐無稽は話なんかいな。

(「よろしいですか」の声あり)

○戸上 健委員長 はい。

○濱口議会事務局長 実は、私も国土調査室に1年おったことがあるんですけども、そのときは100年かかると言われました。なぜかという、鳥羽市は副市長が言ったように課を設けてまだやっています。よそはそこまでやっていません。それでもやっぱり鳥羽市全部という相当な人員を放り込まないとできないです。今の人員の中で、そこへ充実させて2班体制とかという話になってくると、どこかが必ず手薄になる。もうそれは見えていますので。

○戸上 健委員長 正規職員は無理やけれども、囑託で。

○濱口議会事務局長 その辺になると、やっぱり予算的な部分、財源がからんできますので、国土調査に関しては、国からおりてくる費用はあるんですけども、それが十分もらえるかというところもちょっと難しいところありますので、なかなかそこへ人材を充実させてやるんやというのでいこうというのは、市長のトップ判断になると思うんですが、難しいハードルかなというふうに思います。

ただ、要求としては、充実させてくれというのは言えるかなというふうには思うんですけども、実際にそれを具体化しようと思うと難しいところはあると思います。

○戸上 健委員長 中世古委員。

○中世古 泉委員 私も当該、長岡地区ですので、今の現状は厳しいと思います。今、遅々として進まず、町内も、それによって今、人口減が激しい中で経済的な打撃も大きくてということになると、やることによってプラスの部分も大いにあるから、負を考えずに、プラスのほうをもっと考えて、例えば、調査することによって、あといろいろな費用がまたおりますよね。税金とかも多少ふえるというような話も聞きましたけれども、そういう形で前へ進めていただくということが、まず大事なんかなと思います。今、これだけ厳しい状況になったら、何かにプラスになる部分も大いに考えるべきやと思いますので、ぜひ。

○戸上 健委員長 利点を住民に説明するということやな。

○中世古 泉委員 もそういう現状というのも理解していただく上で進めるべきやと思います。これは大事なことやと思いますけれども、私は。

○戸上 健委員長 進めるのはみんな合意しておるんやから。

○中世古 泉委員 もっと促進するという事で進めていただきたいと思いますがね。私は、多少入れても、もちろん経済的にかかってもいいと。

○戸上 健委員長 木下副委員長。

○木下順一委員 私も進めてもらうことには全然賛成です。

それで、今回ドローンの質問をするのに、測量業界というのは、もうドローンを使って測量もじゃんじゃんやっているわけです。そやもんで、これに使いへんのかと。この質問いくぞと言うてやったら、建設が調べてきて、まだ国交省すらこれはいつてない分野だとか言うて、さっき尾崎委員が言われるように、立ち会いという、人と人でせんならんもんで、確定していくまでにちょっと時間がかかるのかな。確定さえすりゃ、ドローンを飛ばしたったら、ぱぱぱとすぐ測量はしてくるかと思うんやけれども、その辺の技術革新も期待して、30年と言うておるのをどれだけでも縮められたなと思って、ちょっと相談に来たんやけれども。

○戸上 健委員長 局長。

○濱口議会事務局長 実際に境界のくいが確定したところは副議長が言われたようにできるんですけども、筆界未定とって全然くいが決まらないところもあるし、もう全然人がいないとか、そこを調査していくと、物すごく時間かかる話なんです。それを一気に進めよと言われても、人が、もう対象がいなかったりとかとなってくると、全然進まん話ですので、その辺を地域である程度境界を決めてもらってというのができれば一番早いですけれども、なかなかそこも一番最初からやっていかないといけませんので、進めるというのは本当にいい仕事なんですけれども、物すごい難しい仕事であるというのは、ちょっとご理解いただきたい。

○戸上 健委員長 世古委員。

○世古安秀委員 もちろん時間もかかって手間もかかるというのは。そやけども、今やっておかんと、どんどんとなおおくってしまうやろうという、その辺の状況がありますのでね。

○戸上 健委員長 河村委員。

○河村 孝委員 予算とのバランスだと思うんですよ。やらないかんというのは、もうみんなが思っておることだと思うんです。ただ、そこに専門職員をどっと雇い入れて一気に片づけるということが現実的にできるかという、今の予算、鳥羽市の体力では、それも難しいとなると、どうやったら今のペースよりも速いペースで

進められるか。もう少しそこは議論の余地があるので、提言としては、早く進める方法を模索するべしという提言にとどめたらいかがでしょうか。

○戸上 健委員長 そうやな。わかりました。

建設課長の提言は前市長に対する意見具申やもので、新市長はまだ見ておらんと思うんです。そやもんで、議会としては、地籍調査の促進をいかに図るか、建設課の意見をよく聞いて方向性を考えてくれというあたりにとどめておきますか。

(「はい」の声あり)

○戸上 健委員長 じゃ、これはそれでおさめましょう。

次に、1番目はちょっと却下ということになりましたもので、2番目に、消防施設の充実、格納庫が現状では消防団が大変だという尾崎さんの意見です。これは、順ちゃん、どうですか。

○木下順一委員 先ほど尾崎委員に紹介してもらったように、菅島で、次は長岡分団が決まっています。桃取は旧格納庫をやぶるようにもう、ことしやったかな、なっていて、それで順次、悪いところはやっていくようなことは聞いていますけれども、場所とか、今ある低いところではいかんで、高いところへ持っていきたいんやけれども、高いところがないとか、車の便が悪いとか、そういうので何かやってほしいところはあってもなかなかできないこともあって、聞くと、自分らだけ、あんなんつくるやんかと言うと、いや、消防団もちゃんと言うてきたら、そのように順次計画は立てておるといようなことは聞いています。

それと、もう1点大事なことは、この間、公共施設等の総合管理計画というのをつくったと思うんです。その中には、言われた公民館とか他施設なんかも含めて、今後の財政のあり方とか計画の中でひっくるめてやっていくものなのかなとは思いますが。

○戸上 健委員長 わかりました。木下委員が言うように、総合管理計画というのをこれは国の指示でつくらないかんもんで、つくった中に、幹ちゃん、消防格納庫の分野も含まれておるといことで、そやもんで、やっぱり市長に問題意識を、南海トラフで防災、津波、これをきちんと対応してもらわないかん。そのためには、消防団の体制とこういう施設の充実というのは不可欠だということを議会としては心配しておるので、その点に留意せいというあたりにとどめておきますか。

(「いや、違います」の声あり)

○戸上 健委員長 まだあかんのか。

○尾崎 幹委員 この間、坂手に行ったら、防潮堤の外に。本当に岸壁にあって、それで、このあいだの台風で雨漏りしておるんやと、見に来てくれと言うて、行ったら、窓の幕がもう外に出る状態で、壁は無数のひび割れで、消防格納庫ではまずないといようなレベルのものがあるんです。

(何事か発言するものあり)

○尾崎 幹委員 本当は借りて何か漁業の後の箱を使っておるだけの話で、本当に外が見えるんですわ。

○戸上 健委員長 わかりました。そしたら、消防施設の格納庫の充実については、市としてどこまで管理計画があるのか。そして、坂手のような実情を議会としては非常に心配しておると。それについて対応策を検討しろというふうにしておきましょう。それでよろしいか。

(「はい」の声あり)

○戸上 健委員長 幹ちゃん、それでよろしいか。

○尾崎 幹委員 はい、お願いします。

○戸上 健委員長 次に、観光波及効果を水産、商工、企画の各課が連携して、鳥羽の今の地域活性化をどう図るかということを含めて探求してくれという議会の提言ですけれども、この点についてはいかがでしょうか。尾崎委員。

○尾崎 幹委員 今の状態やったら、委員長が言われるように連携が根本的な基礎にならないかんようになってきておると思うんです。その中で、各課で事業する中でも、やっぱりまたいでおるわけですから、今言われたのが早急に確実にできて、それが評価につながるように至急持っていくのが、結果として形になるということやと思いますので、それを本当に推進に対して必要な予算はつける。と思っています。以上です。

(「委員長、いいですか」の声あり)

○戸上 健委員長 局長。

○濱口議会事務局長 今、戸上委員が言われた波及効果の調査なんですけど、実はもう先般、でき上がったものを関連する各課を全部集めて説明会をしていただきました。

○戸上 健委員長 高浪さんが言うておったのは、それですか。

○濱口議会事務局長 はい、それです。それで、私もそこへ出席をさせていただきました。

○戸上 健委員長 済んでおるわけやな。

○濱口議会事務局長 はい。それでも農水、観光、教育もとか、何せ結構、課を集めて、それを利用して、いろいろな部分で活用してくれということで説明会がありました。

それで、議会のほうにも説明してくれるのかと言うたら、行きますということで言うていましたので、その辺はまた調整しまして、議会のほうにも説明していただけるように伝えてありますので、またその日が調整できればしていただきたいなというふうに思っています。

○戸上 健委員長 幹ちゃん、ということやもので、これはもう却下して。現実に進んでおるということです。議会に対する説明、これは我々もぜひ聞きたいし、勉強したいもので、どの委員会があるか、議長、また局長と相談しておいてくれますか。

(「全協でやったらいい」の声あり)

○戸上 健委員長 それでよろしいですか。

議長、どうぞ。

○濱口一利議長 私もこの説明を聞いて、観光業というのは裾野の広い産業とばかりだと思っておったけれども、鳥羽市ではそれがなかなか少ないという結果となってくると、やはり問題があるということで、産業振興とかいろいろな面で、どうしたらそういう形が構築できるかというのは提言すればいいと本当に思いましたけれども、庁内でちゃんと調査しているということであれば、それを聞いて、また議会としても協力していこうという形でいけばいいと思いますけれども。

○戸上 健委員長 そうですね。各課とも、この波及効果調査結果を受けて、動きが素早いと思うんです。要は進めておるというように思いますもので、議会としてはそれを応援しつつ、議会としても勉強するということ

にしておきましょうか。それでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○戸上 健委員長 それでは、きょうの振り返りと決算委員会としての市長への提言の項目は、地籍調査の促進、それから二つ目が消防施設の充実、特に早急な手当てが必要な格納庫。これについて管理計画にちゃんとあるかどうか。それを定めた上で、もしなければ充実強化していくようという、この2項目を提言するということ
でよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○戸上 健委員長 では、以上で本日の委員会を終わります。ご苦労さまでした。

来週9月25日も午前9時から予算決算常任委員会を再開し、特別会計及び企業会計の決算審査を行います
ので、定刻までにご参集願います。

本日は、これもちまして散会します。お疲れさまでした。

(午後 3時16分 散会)

委員長はこの会議録をつくりここに署名する。

平成29年9月22日

予算決算常任委員長 戸 上 健